

〔フォローアップ資料〕

○概ね5年（R4～R8：第2期）で実施する取組の実施状況

項目	事項	項目	実施機関	（評価）	R7年度 取組状況	R8年度 取組予定	摘 要
1. 鳥取県の強み「支え愛」による地域防災力の強化							
(1) 地域の防災体制づくり							
■地域の支え愛防災マップづくりを通じた地域防災力向上の取組							
防災学習、出前講座等の実施	現場点検やワークショップを交えた支え愛防災マップの作成支援	米子市	〇	地域住民等を対象とした出前講座の実施	引き続き実施		
		境港市	〇	地域住民等を対象とした出前講座を実施	継続実施		
		日吉津村	〇	村防災訓練にあわせて実施	継続実施		
		大山町	〇	自治会等からの要望により随時実施	継続実施		
		南部町	〇	地域の要望に応じて随時実施	継続実施		
		伯耆町	〇	要望に応じて随時実施	継続実施		
		日南町	〇	自治会等からの要望を受け、随時実施	継続実施		
		日野町	〇	自治会等からの要望により随時実施	継続して実施		
		江府町	〇	要望に応じて実施	継続実施		
		鳥取県	〇	要望に応じて随時実施	要望に応じて随時実施		(危機管理部)
		気象台	〇	要望に応じて随時実施	要望に応じて随時実施		
		国交省	〇	防災学習、出前講座等の実施	継続実施		(日野川河川)
			〇	9/18、11/4 小学生、養護学校を対象に防災教育、出前講座を実施。	継続実施。		(出雲河川)
		米子市	〇	支え愛マップの作成支援を実施	引き続き作成支援を実施		
		境港市	〇	支え愛マップの作成支援を実施	引き続き作成支援を実施		
		日吉津村	〇	要望に応じて随時実施	継続実施		
マップ等を活用した防災訓練の実施		大山町	〇	町社協と連携しマップを作成する自治会等を支援	継続実施		
		南部町	〇	支え愛マップの作成支援を実施	継続実施		
		伯耆町	〇	支え愛マップの作成支援を実施	継続実施		
		日南町	〇	社会福祉協議会・福祉保健課の要望に応じて随時実施	継続実施		
		日野町	〇	町社協と連携しマップづくりを支援	引き続き関係団体と情報共有・連携しながら実施		
		江府町	〇	支え愛マップの作成支援を実施	引き続き作成支援を実施		
		鳥取県	〇	引き続き作成支援を実施	引き続き作成支援を実施		(危機管理部)
		米子市	〇	支え愛マップ等を活用した防災訓練の支援を実施	引き続き作成支援を実施		
		境港市	〇	作成された支え愛マップによる防災訓練を支援	継続実施		
		日吉津村	〇	防災訓練での支援を実施	継続実施		
		大山町	〇	支え愛マップ等を活用した防災訓練の支援を実施	継続実施		
		南部町	〇	防災訓練での支援を実施	継続実施		
		伯耆町	〇	町防災の日に合わせて避難訓練を実施	町防災の日に合わせて避難訓練を実施予定		
		日南町	〇	支え愛マップを活用した防災訓練の支援を実施	継続実施		
		日野町	〇	全町一斉防災訓練にて防災マップの活用を呼びかけ	継続実施		
		江府町	〇	マップ等を活用した防災訓練の支援を実施	引き続き作成支援を実施		
		鳥取県	〇	引き続き取組支援を実施	引き続き作成支援を実施		(危機管理部)

〔フォローアップ資料〕

〇概ね5年（R4～R8：第2期）で実施する取組の実施状況

項目	事項	項目	実施機関	（評価）	R7年度の取組状況	R8年度の取組予定	摘要
■住民主体の防災体制づくりの推進							
防災リーダーの育成	米子市	米子市	〇	防災士研修を実施	研修の継続		
		境港市	〇	防災士資格取得支援及び市内防災士の組織化を推進	継続実施		
		日吉津村	〇	防災士の養成	継続実施		
		大山町	〇	防災士の資格取得を支援	継続実施		
		南部町	〇	防災士連絡協議会活動の実施	活動の活発化 防災訓練、研修への参加		
		伯耆町	〇	防災士養成研修受講支援を実施	継続支援		
		日南町	－	令和6年度にて事業終了			
		日野町	〇	防災士の資格取得を支援	継続実施		
		江府町	△	防災士の活動の活性化	防災士活動の活性化		
		鳥取県	〇	研修の継続	研修の継続		(危機管理部)
	米子市	気象台	〇	自治体が開催する防災士養成研修や地域防災リーダーを対象とした研修等に講師を派遣	要請に応じて随時実施		
		米子市	〇	自主防災組織等の研修を実施	研修の継続		
		境港市	〇	防災担当課による出前講座を実施	継続実施		
		日吉津村	〇	自主防災組織等の研修を実施	継続実施		
		大山町	〇	自主防災組織等に向き防災研修を実施	継続実施		
		南部町	〇	自主防災組織等の研修支援、講師の派遣を実施	継続実施		
		伯耆町	〇	自主防災組織等への講師派遣を実施	継続実施		
		日南町	〇	防災専門員による出前講座を実施	継続実施		
		日野町	〇	防災担当者・町危機管理監による防災講演会を実施	継続実施		
		江府町	△	防災士活動の活性化	防災士活動の活性化		
自主防災組織等の研修、講師の派遣	鳥取県	鳥取県	〇	研修実施、アドバイザー派遣等の継続	研修実施、アドバイザー派遣等の継続		(危機管理部)
		気象台	〇	自主防災組織等の研修、講師の派遣を実施	自主防災組織等の研修、講師の派遣を実施		
		国交省	〇	自主防災組織等の研修、講師の派遣	継続実施		(日野川河川)
		米子市	〇	3/1 地元住民を対象に流域治水模型を使った流域治水に関する出前講座を実施	継続実施。		(出雲河川)
		境港市	〇	自主防災組織の設立支援と機材貸出制度実施。消防団活動への理解促進	引き継ぎ支援を継続		
		日吉津村	〇	自主防災組織が計画する防災訓練への消防団の参加・協力	継続実施		
		大山町	〇	自主防災組織が計画する防災訓練への消防団の参加・協力の向上を図った。また自治会等からの要請により消防訓練等消防団員を派遣した。	継続実施		
		南部町	〇	理解促進と連携	継続した連携		
		伯耆町	〇	消防団員を各集落に派遣し、消火栓使用研修を実施	消防団員を各集落に派遣し、消火栓使用研修を実施予定		
		日南町	〇	自主防災組織に対し補助金等による支援を実施	消防団・自主防災組織の連携強化（協同訓練の実施）		
	自主防災組織への支援と消防団活動への理解促進と両者の連携	日野町	〇	消防用施設等の整備に係る費用を補助	継続実施		
		江府町	△	防災座談会等を要請に応じて実施	要請に応じて継続実施		
		鳥取県	〇	支援の継続	支援の継続		(危機管理部)

【フォローアップ資料】

○概ね5年(R4～R8：第2期)で実施する取組の実施状況

項目	事項	項 目	実施機関	(評価)	R7年度の取組状況 前例して実施：◎ 予定通り実施：○ 作業中：△ 未着手：×	R8年度の取組予定	摘 要
	■安全で安心して過ごせる避難所の開設	必要ない資機材の整備及び迅速な配備能力の構築	米子市	○	備蓄等更新及び資材整備と整理を実施	引き継ぎ実施	
			境港市	○	資機材の点検、整備及び補充を実施	継続実施	
			日吉津村	○	備蓄品の整理及び補充を実施	継続実施	
			大山町	○	備蓄等更新及び資材整備と整理を実施	継続実施	
			南郷町	△	避難所の必要な資機材整備の推進	継続して資機材の整備を推進	
			伯耆町	○	備蓄品の整理及び不足分の補充を実施	必要な資機材の購入	
			日南町	○	能登半島地震を受け、備蓄品の充実及び分散備蓄に傾注	継続実施	
			日野町	○	備蓄物資の整理・更新	継続実施	
			江府町	○	避難所に必要な資器材の整備	継続実施	
			鳥取県	○	引き継ぎ連携備蓄に取り組む。	引き継ぎ連携備蓄に取り組む。	(危機管理部)
			米子市	○	広報等周知活動及び避難ノートを配布	引き継ぎ実施	
			境港市	○	出前講座、消防フェア等を通じて啓発	継続実施	
			日吉津村	○	自治連合会での周知等	継続実施	
			大山町	○	防災マップ、町ホームページ等により啓発	継続実施	
		南郷町	○	広報誌での周知、地域での防災説明会などで啓発を実施	継続実施（能登地震の例など参照）		
		伯耆町	○	広報誌やケーブルテレビ等で周知	継続実施		
		日南町	○	広報誌による周知及び防災専門員の出張講座による啓発	継続実施		
		日野町	○	防災マップ等を用いた啓発	継続実施		
		江府町	○	防災座談会、広報誌等で周知	引き継ぎ各団における防災備蓄品の啓発を実施		
		鳥取県	○	引き継ぎHP等による県民への普及啓蒙に努める。	引き継ぎHP等による県民への普及啓蒙に努める。	(危機管理部)	
		米子市	○	地域住民等を対象とした出前講座等の実施	引き継ぎ実施		
		境港市	○	自主防災組織による避難所開設訓練支援	継続実施		
		日吉津村	-				
		大山町	○	地域自主組織主催による避難所設置訓練の支援	継続実施		
	南郷町	○	避難所が開設できる体制整備の支援	継続実施（能登地震の例など参照）			
伯耆町	○	伯耆町防災の日に合わせて実施	継続実施				
日南町	○	自治会を対象に対する出前講座を実施	左記継続実施のほか、まちづくり協議会と連携した避難所開閉の運営作成の検討を実施				
日野町	○	全町一斉防災訓練に伴せ避難所開設合同訓練を実施	継続実施				
江府町	○	新年度の区長会により周知	継続実施				
鳥取県	○	引き継ぎ市町村の避難所運営体制整備を支援	引き継ぎ市町村の避難所運営体制整備を支援	(危機管理部)			

〔フォローアップ資料〕

〇概ね5年（R4～R8：第2期）で実施する取組の実施状況

項目	事項	項目	実施機関	（評価）	R7年度の 取組状況	R8年度の 取組予定	摘 要
(2) 住民の水害に対する心構えと知識を備える方策							
■防災学習・教育、意識啓発							
鳥取型防災教育の充実・拡大・防災教育の促進	鳥取型防災教育の充実・拡大・防災教育の促進	米子市 境港市 日吉津村 大山町 南部町 伯耆町 日南町 日野町 江府町 鳥取県	米子市 境港市 日吉津村 大山町 南部町 伯耆町 日南町 日野町 江府町 鳥取県	○ 小中学校等と連携し、防災教育を実施 ○ 幼・保・小・中・高の各園・学校での出前講座及び生徒の研修支援 － ○ 小学生への防災教育を実施 ○ 米子県土整備局の支援、鳥取地方気象台の支援を受け、防災教育を実施 ○ 小学校への防災学習の実施 ○ 小中学校からの要請に応じた出前講座を実施 ○ 義務教育学校等での防災学習の実施 ○ 小学生の防災教育を実施 ○ 小中学校等と連携し、防災教育を実施（二部小、八郷小、大山小、笠見小） － 要請なし ○ 県教育委員会と連携し、小、中学校が主だが、高校、支援学校にも告知を飛ばして防災教育を全面実施 ○ 関係機関と連携した水害（防災）教育の実施 ○ 9/18、11/4 小学生、養護学校を対象に防災教育、出前講座を実施 ○ 各種シンポジウムへの参加	引き続き参加を実施 継続実施 継続実施 継続実施 継続実施 継続実施 継続実施 継続実施 継続実施 引き続き参加を実施 継続実施 継続実施 継続実施 継続実施 引き続き参加を実施		

〔フォローアップ資料〕

○概ね5年（R4～R8：第2期）で実施する取組の実施状況

項目	事項	項目	実施機関	（評価）	R7年度の取組状況	R8年度の取組予定	摘 要
■行政等の防災力向上	河川管理者及び市町村長、防災担当者への研修	市町村と要配慮者施設との情報伝達・共有化の体制づくり	米子市	○	防災担当者の研修への参加	引き継ぎ実施	
			境港市	○	防災担当者の研修参加	継続実施	
			日吉津村	○	適宜研修会への参加	継続実施	
			大山町	○	防災担当者研修への参加	継続実施	
			南部町	○	トップセミナー等への参加	継続実施	
			伯耆町	○	適宜研修会への参加	継続実施	
			日南町	○	防災担当者研修に参加のほか、出水期前に気象台のレクを受講	継続実施	
			日野町	○	適宜研修会へ参加	継続実施	
			江府町	○	危機管理トップセミナー、気象台トップレク	継続実施	
			鳥取県	○	継続実施	継続実施	（河川課）⇒危機管理政策課
			気象台	○	要請に応じて講師を派遣	継続実施	
			国交省	○	河川管理者及び市町村長、防災担当者への研修（幹旋）	継続実施	（日野川河川） （出雲河川）
			米子市	○	避難行動要支援事業の推進	引き継ぎ実施	
			境港市	○	出前講座、防災訓練等による連携体制の構築	継続実施	
			日吉津村	○	情報伝達、共有化の体制づくり検討	継続実施	
			大山町	○	情報伝達・共有化の体制づくりの推進	継続実施	
2. 鳥取方式による地域と一体となった効率的な水防・河川管理の実施と治水対策 （1）河川・堤防機能の脆弱性評価を活用したハード対策の推進	市町村と要配慮者施設との情報伝達・共有化の体制づくり	米子市と要配慮者施設との情報伝達・共有化の体制づくり	南部町	△	情報伝達、共有化の体制づくり検討	体制づくりに向けた協議	
			伯耆町	○	大雨が予想される前に、施設への連絡等を実施	継続実施	
			日南町	○	町総合防災訓練において情報連絡訓練を実施	左記継続及びハザード状況の共有を実施	
			日野町	○	要配慮者施設との情報共有等を適宜実施	継続実施	
			江府町	△	情報共有体制の構築	継続実施	
			鳥取県	○	3箇所に対策工事を実施（小松谷川、精進川、加茂川）	引き継ぎ実施	（米子県土）
			米子市	○	1箇所に対策工事を実施（日野川）	継続実施	（日野県土）
			鳥取県	○	2箇所に対策工事を実施（加茂新川、中間川）	対策工事を実施（加茂新川）測量設計を実施（中間川）	
			鳥取県	○	1箇所に対策工事を実施（佐陀川）	引き継ぎ実施	（米子県土）
			鳥取県	○	検討中	継続実施	（日野県土）
■危機管理型ハード対策の推進	県管理河川において、堤防天端の保護を目的とした舗装を実施	米子市と要配慮者施設との情報伝達・共有化の体制づくり	鳥取県	○	排水機場工事を実施（水貫川）	引き継ぎ実施	（米子県土）
			鳥取県	○	河川維持管理計画、長寿命化計画による維持管理を実施	引き継ぎ実施	（米子県土）
			鳥取県	○	河川維持管理計画による維持管理を実施	継続実施	（日野県土）
			鳥取県	○	3か所で舗装工事を実施。（佐陀川ほか）	引き継ぎ実施	（米子県土）
			鳥取県	○	1箇所での舗装工事を実施。（日野川）	継続実施	（日野県土）
			鳥取県	○	3箇所に対策工事を実施（小松谷川、精進川、加茂川）	引き継ぎ実施	（米子県土）
			米子市	○	1箇所に対策工事を実施（日野川）	継続実施	（日野県土）
			鳥取県	○	2箇所に対策工事を実施（加茂新川、中間川）	対策工事を実施（加茂新川）測量設計を実施（中間川）	
			鳥取県	○	1箇所に対策工事を実施（佐陀川）	引き継ぎ実施	（米子県土）
			鳥取県	○	検討中	継続実施	（日野県土）

〔フォローアップ資料〕

〇概ね5年（R4～R8：第2期）で実施する取組の実施状況

項目	事項	項目	実施機関	(評価)	R7年度の 取組状況	R8年度の 取組予定	摘 要
(2) 河川・堤防機能の脆弱性評価を活用した水防体制の強化・効率化							
■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備							
	重点監視区間の設定と河川監視カメラ・水位計・量水標等の設置	鳥取県	ー R7実績なし ○ R7は量水標を1箇所新設、1箇所修繕	引き継ぎ実施 継続実施		(米子県土) (日野県土)	
		■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組					
	ICTの活用や住民等との協働による河川巡視・点検の効率化 ・ICTの導入による危険箇所の定点観測と経年データの蓄積 ・点検を担う人材育成（一般住民、防災ボランティア等） 水防団・住民等との協働による水防体制づくり	鳥取県	○ 河川監視カメラ、水位情報のデータ蓄積	継続実施		(河川課)	
		鳥取県	○ 職員OBの防災ボランティアによる点検を実施 ○ 職員OBの防災ボランティアによる点検を実施	引き継ぎ実施 継続実施		(米子県土) (日野県土)	
		米子市	○ 水防団・市町村との連携・役割分担確認	継続実施		継続実施	
		境港市	○ 水防団・市町村との連携・役割分担確認	継続実施			
		大山町	○ 重点監視区間の設定及び検討、河川の巡回監視を実施	継続実施			
		南郷町	○ 出水期前の重要水防箇所の点検実施	継続実施			
		伯耆町	○ 連絡体制の確認	継続実施			
		日南町	○ 平素より実施	継続実施			
		日野町	○ 連携、連絡体制等の確認	継続実施			
		江府町	○ 重点監視区域、役割分担の確認	継続実施			
	出水時における水防団・市町村との連携・役割分担	鳥取県	○ 関係機関と連携し、水防訓練を開催 (5/18)	関係機関と連携し、水防訓練を開催 (5/24予定)		(河川課)	
		米子市	○ 住民通報システムについて導入、運用検討	運用について、継続して検討実施			
		境港市	○ 連絡体制の確認・構築	継続実施			
		大山町	○ 緊急連絡先の把握など連絡体制を整備	継続実施			
		南郷町	○ 南郷町防災士連絡協議会の防災士とのLine共有、南郷町Lineチャットにより、住民からの災害情報を発信	連絡体制の拡充			
		伯耆町	○ 連絡体制の確認	継続実施			
		日南町	○ 町総合防災訓練において地域住民との情報収集・伝達訓練を実施	継続実施			
		日野町	○ 連絡体制の確認	継続実施			
		江府町	○ 連絡体制の周知、確認	継続実施			
		鳥取県	○ 公共施設管理サポーター制度を運用	継続実施		(河川課)	

〔フォローアップ資料〕

〇概ね5年（R4～R8：第2期）で実施する取組の実施状況

項目	事項	項目	実施機関	（評価）	R7年度 取組状況	R8年度の 取組予定	摘 要
		水防体制の強化		前例して実施：◎ 予定通り実施：○ 作業中：△ 未着手：×	・重要水防箇所の見直しと水防団等との共同点検及び水防資器材の確認		
			米子市	○	連絡体制の確認・構築	継続検討	
			境港市	○	連絡体制の確認及び水防資器材の点検、整備	継続実施	
			大山町	○	水防資器材の点検、整備	継続実施	
			南郷町	○	水防資器材の確認を実施	継続実施	
			伯耆町	○	水防資器材の確認	継続実施	
			日南町	○	水防資器材の確認点検は随時実施、重要水防箇所の見直しについては、当年度該当箇所なし。	継続実施	
			日野町	○	水防資器材の確認、整理等の実施	継続実施	
			江府町	○	水防資器材の確認	継続実施	
			鳥取県	○	水防体制に反映	継続実施	(河川課)
				○	水防資器材の確認を実施	引き継ぎ実施	(米子県土)
			国交省	○	水防資器材の確認を実施	継続実施	(日野県土)
				○	水防資器材の確認を実施し、水防連絡会にて物資の情報を共有した。	継続実施	(日野川河川)
			国交省	○	6/17 水防連絡会で物資の情報を共有 6/26 境港市で合同勉強会実施 6/27 米子市で合同勉強会実施	継続実施。	(出雲河川)
			米子市	○	水防団員確保のための広報等の検討及び実施	継続実施	
			境港市	○	水防に関する広報及び消防団（水防団）員の募集	継続実施	
			日吉津村	○	消防団員募集の呼びかけを実施	継続実施	
			大山町	○	水防団員確保のための広報等の検討及び実施	継続実施	
			南郷町	○	消防団の募集広報と兼ねて実施	継続実施	
			伯耆町	○	消防団員募集の呼びかけを実施	継続実施	
			日南町	○	同島募集ボスターの掲示のほか、各分団によるリクルートを実施	継続実施	
			日野町	○	消防団員の募集広報に併せて実施	継続実施	
			江府町	○	消防団員の勧誘活動	継続実施	
			鳥取県	－	必要に応じて市町村の取組を支援	継続実施	(河川課)
			米子市	○	水防団間での連携・協力の検討	継続実施	
			境港市	○	水防団間での連携・協力に関する検討	継続実施	
			日吉津村	△	検討中	継続検討	
			大山町	○	水防団間での連携・協力に関する検討	継続実施	
			南郷町	△	検討中	継続検討	
			伯耆町	○	水防団間での連携の検討	継続実施	
			日南町	○	水防団の設置がないため、消防団（≠水防団）としての実施	近隣市町村との連携を検討	
			日野町	△	検討中	町水防訓練・総合防災訓練の場を活用して継続実施	
			江府町	△	検討中	引き継ぎ検討	
			鳥取県	○	水防訓練への積極的参加	継続実施	(河川課)
			米子市	○	水防団間での広域的な連携・協力の検討	継続実施	
			境港市	○	防災訓練の実施・水防講習会への参加	引き継ぎ 継続実施	
			日吉津村	○	水防訓練・水防講習会への参加	継続実施	
			大山町	○	村総合防災訓練を実施した。	継続実施	
			南郷町	○	町総合防災訓練の実施	継続実施	
			伯耆町	○	防災訓練、日野川水防演習水防講習会参加	継続実施	
			日南町	○	伯耆町防災の日に合わせて実施	継続実施	
			日野町	○	町総合防災訓練及び水防訓練を実施	継続実施	
			江府町	○	全町一斉防災訓練の実施	継続実施	
			鳥取県	○	総合防災訓練の実施	継続実施	
			鳥取県	○	県主催水防演習を実施（東部地区）	県主催水防演習を実施（中部地区）	(河川課)
			気象台	○	防災訓練への協力	要請に応じて実施	
			国交省	×	要請無し	要請に応じて参加	(日野川河川)
				○	6/1 斐伊川水防訓練を実施（鳥取県内では出雲河川はやっていない）	継続実施。	(出雲河川)

〔フォローアップ資料〕

〇概ね5年（R4～R8：第2期）で実施する取組の実施状況

項目	事項	項目	実施機関	(評価)	R7年度の 取組状況	R8年度の 取組予定	摘 要
(3) 平成29年九州北部豪雨や台風豪雨や台風豪雨を踏まえた警戒避難体制の整備・対策							
■既存施設の運用・警戒避難体制の整備・対策等に関する取組							
浸水常襲地区等における排水施設、資機材及び樋門等の確実な運用と警戒避難体制の整備、排水対策の推進		米子市 大山町 南郷町 伯耆町 日南町 日野町 江府町	米子市	○ 樋門等の運用方法の確認と改善検討	継続実施		
			大山町	○ 樋門等の運用方法の確認と改善検討	継続実施		
			南郷町	○ 浸水常襲集落の整備、排水対策のため、米子県土整備局と現地研修会、排水ポンプ設置訓練で連携	継続実施		
			伯耆町	○ 大雨時の情報提供を実施	継続実施		
			日南町	○ 大雨時の情報提供を実施	継続実施		
			日野町	○ 管理体制の確認	継続実施		
			江府町	○ 大雨時の情報収集と提供	継続実施		
				○ 電動ドリルによる樋門操作の簡易電動化を実施	継続実施	(河川課)	
			鳥取県	○ 増水状況や樋門操作等による被害予想又は市町村等からの要請により、排水ポンプ車を運用（令和7年度出動実績なし）	引き続き実施	(米子県土)	
				○ 管内3か所に災害対応用の大型土のうを常備	継続実施	(日野県土)	
	国交省	○ 排水施設の運用方法の確認と改善検討（排水計画作成）	継続実施	(日野川河川)			
		－		継続実施	(出雲河川)		
	鳥取県	○ 操作規則等の総点検を実施（試験運用中）	引き続き実施	(米子県土)			
	国交省	○ 操作規則等の点検及び検討	継続実施	(日野川河川)			
		－		継続実施	(出雲河川)		
	米子市	○ ダム放流情報の伝達訓練及び連絡体制の確認等	継続実施				
	南郷町	○ 米子県土整備局との連携、ダム演習により共有	住民避難訓練の実施、説明会の実施				
	伯耆町	○ 訓練への参加	継続実施				
	日南町	○ 1回／年のダム放流情報伝達訓練に参加	継続実施				
日野町	○ ダム放流情報の伝達方法や連絡体制の確認	継続実施					
江府町	○ ダム放流情報の防災無線による伝達、訓練の実施	継続実施					
鳥取県	○ 訓練実施	引き続き実施	(米子県土)				
	○ 中国電力㈱が実施するダム管理演習に参加	継続実施	(日野県土)				
国交省	○ ダム放流情報の伝達方法や連絡体制の検討及び訓練の実施	継続実施	(日野川河川)				
	－		継続実施	(出雲河川)			
■流域一帯となった総合的な流木対策の推進							
	流木による閉塞トラブルスボットの抽出と代表流域における総合的な流木対策の推進	鳥取県	－	R7実績なし	R8予定なし	(河川課、米子県土)	
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項							
市町村庁舎や災害拠点病院等の施設管理者への情報伝達の充実		米子市	○ 情報伝達体制・方法の充実	継続実施			
		境港市	○ 情報伝達体制・方法の充実	継続実施			
		南郷町	○ 南部町内は、庁内管理者チャットラックによる情報伝達の実施	継続実施			
		伯耆町	○ 適宜情報伝達を実施	継続実施			
		日南町	○ 豪雨時等早期避難を促す連絡を実施	継続実施			
		日野町	○ 情報伝達体制・方法の確認	継続実施			
		江府町	○ 情報伝達体制・方法の確認	継続実施			
		米子市	○ 本庁舎に続き、淀江支所に非常用発電機を設置	継続実施			
		境港市	○ ポータブル電源を含む非常用電源の整備	継続実施			
		南郷町	○ 非常用電源整備完了	継続実施			
日南町	－	令和5年度にて事業終了					

○概ね5年(R4～R8：第2期)で実施する取組の実施状況

[フオローアップ資料]

項目	事項	項目	実施機関	(評価)	R7年度の取組状況	R8年度の取組予定	摘 要	
■ダム放流の安全・避難対策	利水調整関係者協議と事前放流の積極的実施に関する利水調整	鳥取県	○ 対象全ダムと協定締結し運用中	必要に応じて調整		(米子県土)		
		国交省	○ 操作規則等の点検及び検討	継続実施				
		鳥取県	× 気象予測、最新技術等の動向を踏まえ、長期的に検討	継続検討			(河川課)	
		国交省	○ 業務検討	継続実施			(日野川河川) (出雲河川)	
	流入量予測の精度向上	国交省	○ 業務検討	継続実施。			(日野川河川) (出雲河川)	
		国交省	○ 令和15年度末に公表済み	継続実施。			(日野川河川) (出雲河川)	
		米子市	○ 新たな情報発信システムの導入検討	継続検討				
		日吉津村	○ 設置済み					
	水位計、ライプカメラの設置、無線車からのアナウンス改善等新たな情報発信方法の検討	南都町	○ ダム事務所情報を防災無線で放送（屋外、戸別受信機）	継続実施				
		日野町	○ 現状の情報発信方法の検証	継続実施				
		江府町	△ 新たな情報発信システムの検討	継続検討				
		鳥取県	－ 予定なし	予定なし			(米子県土) (日野川河川) (出雲河川)	
		国交省	○ ライプカメラの設置、警報設備等の耐水化	継続実施				
		米子市	○ ダム放流時の避難体制について関係者で協議を進める	継続検討				
		南都町	○ 浸水影響のある集落への説明会の継続	継続実施				
		日南町	○ 平時からダム管理者と情報共有を実施	継続実施				
	ダム放流時の安全な避難体制について関係者で協議を進める	日野町	○ 連絡体制の再確認および検証	継続実施				
		江府町	○ 避難体制の検討。説明会	継続実施				
		鳥取県	○ 連絡体制の確認及び訓練を実施（ダム演習）	引き続き実施			(米子県土) (日野川河川) (出雲河川)	
		国交省	○ 連絡協議会の開催	継続実施。			(米子県土) (日野川河川) (出雲河川)	
堆砂対策の推進	鳥取県	○ 堆砂測量を実施（結果：堆砂量は少なく経過観察）	引き続き実施					
	国交省	○ 堆積土砂の撤去	継続					
	米子市	○ ダム機能、ダムの放流によるリスクの住民周知	継続検討					
	南都町	○ 広報紙、ダム事務所からのチラシなどの周知、集落説明会、ダム現地見学会などで住民に周知を継続	継続実施					
ダム機能、ダムの放流によるリスクの住民周知	日南町	× 体制を維持するも当該年度に該当事例なし。	検討実施					
	日野町	× 未実施	広報紙等を活用し住民周知を図る。					
	江府町	○ ダム放流によるリスクの住民周知（説明会）	継続実施					
	鳥取県	○ ダム放流の訓練放送及びお知らせチラシを配布（ダム演習）、住民を対象としたダム勉強会を開催	引き続き実施			(米子県土) (日野川河川) (出雲河川)		
避難タイムライン作成、避難訓練の実施	国交省	○ 見学会・出前講座などの開催	継続					
	鳥取県	○ タイムラインに沿った連絡及び訓練放送を実施（ダム演習）	引き続き実施			(米子県土) (日野川河川) (出雲河川)		

〔フォローアップ資料〕

○概ね5年（R4～R8：第2期）で実施する取組の実施状況

項目	事項	項 目	実施機関	（ 評 価 ） 前例して実施：○ 予定通り実施：○ 作業中：△ 未着手：×	R7年度の 取組状況	R8年度の 取組予定	摘 要
3．住民の避難を促す鳥取県の実情を踏まえた水害リスク情報等の提供 （１）水害リスク情報等の共有							
■水位周知河川等の水害リスク情報等の共有							
水位周知河川等の指定促進	水位周知河川等の指定促進	米子市	○	水位周知河川等の指定促進の検討		継続実施	
		大山町	△	随時検討		継続実施	
		南部町	○	取組継続		取組継続	
		伯耆町	○	随時検討		継続実施	
		日南町	×	未実施		検討実施	
		日野町	△	検討中		継続して検討	
		江府町	△	水位周知河川等の指定促進の検討		継続検討	
		鳥取県	×	追加指定無し		その他河川における浸水想定区域指定及び洪水予測システム構築の成果を踏まえ、指定拡大を検討	(河川課)
		米子市	○	浸水実績等の住民への周知		継続実施	
		日吉津村	○	設置済み			
		南部町	○	取組継続		取組継続	
		伯耆町	○	浸水表示板の設置を検討		適宜実施	
浸水実績等の周知	浸水実績等の周知	日南町	○	各自治会への出張講座等で周知を実施		継続実施	
		日南町	○	各自治会への出張講座等で周知を実施		継続実施	
		江府町	○	防災座談会等で周知		適宜実施	(河川課)
		鳥取県	○	洪水浸水想定区域のＨＰ掲載			
■水位周知河川等に指定されていない河川の水害リスク情報等の共有							
指定最大規模の洪水浸水想定区域等の提供	指定最大規模の洪水浸水想定区域等の提供	鳥取県	○	洪水浸水想定区域のＨＰ掲載		継続実施	(河川課)
■県内河川の現状を踏まえた避難判断等基準の検討							
県の実情を踏まえた早めの避難判断基準（水位）の運用	県の実情を踏まえた早めの避難判断基準（水位）の運用	米子市	○	水位周知河川等の指定促進の検討		継続実施	
		日吉津村	－				
		日南町	△	検討実施		検討継続	
		日野町	○	早めの避難判断推移基準の運用と検証		継続実施	
		鳥取県	○	継続運用		継続運用	(河川課)
		米子市	○	浸水実績等の住民への周知		継続実施	
		大山町	△	随時検討		継続実施	
		南部町	△	検討中		検討継続	
		伯耆町	○	避難指示等の目安について検討		継続実施	
		日南町	×	未実施		ハザードマップ化を実施	
		日野町	○	避難指示目安の検討		継続実施	
		江府町	○	避難指示等の目安の検討		継続検討	
水位周知河川等に指定されていない河川の避難指示等の目安（雨量情報、降雨指標等）の検討	水位周知河川等に指定されていない河川の避難指示等の目安（雨量情報、降雨指標等）の検討	鳥取県	○	河川情報の提供強化（カメラ、水位計）		継続実施	(河川課)
		気象台	○	大雨に関する警戒レベル相当情報の検討と発信及びキックル等による情報発信		大雨に関する警戒レベル相当情報の基準の検討と、キックル等による情報発信	

〔フォローアップ資料〕

項目	事項	項目	実施機関	(評価)	R7年度の取組状況	R8年度の取組予定	摘 要	
(2) 円滑かつ迅速な避難の実現	■住民等の主体的な避難の促進	避難行動に直結するハザードマップの改良	米子市 境港市 日吉津村 大山町 南都町 伯耆町 日南町 日野町 江府町 鳥取県 米子市 境港市 日吉津村 南都町 伯耆町 日南町 日野町 鳥取県 国交省 米子市 境港市 日吉津村 南都町 伯耆町 日南町 日野町 鳥取県 鳥取県	○ 必要に応じたハザードマップの改良、web版の充実。 ○ 水害ハザードマップ（津波・洪水・内水）を作成 ○ 必要に応じたハザードマップの改良、web版の充実。 ○ 令和2年3月に改訂 ○ 令和4年3月改訂 ○ H30年度に作成 ○ 警戒区域等の修正箇所を反映し最新の状態に更新 ○ R2.4月作成、R3.6改訂 ○ ハザードマップ改良の検討 ○ 県管理河川の浸水想定図作成し公表 ○ 広域避難等の避難場所等の確保についての検討 △ 広域避難等の判断基準や避難場所等の確保についての検討 ○ 検討継続 ○ 検討継続 ○ 検討中 ○ 避難場所確保済 △ 検討中 ○ 広域避難体制の整備等を行う市町村に対して交付金にて支援 ○ 広域避難等の判断基準や避難場所等の確保についての検討支援 － 要請が無く未実施。 ○ HPでの掲載や地区公民館での掲示について検討 ○ HPでのハザードマップを公開 ○ HPでハザードマップを公開 ○ 表示完了 ○ 浸水表示板の設置を検討 × 未実施 ○ HP、アプリにてWEBハザードマップを公開 － R7は実施なし － 検討中 ○ 継続実施	前倒しで実施：◎ 予定通り実施：○ 作業中：△ 未着手：×	R7年度の取組状況	R8年度の取組予定	継続実施 市民への配布・住民説明会の開催 継続実施 令和8年度中に改訂、配布 住民の意見を反映したハザードマップを検討 R8年度改定予定 継続実施 R8更新予定 ハザードマップの改良 継続実施 継続実施 継続実施 継続した検討 継続実施 維持継続 継続して検討 広域避難体制の整備等を行う市町村に対して交付金にて支援 継続実施 継続実施。 継続実施 継続実施 必要に応じて修繕等 継続実施 表示場所の増加を検討 継続実施 検討実施 継続実施 R8.1箇所設置予定（南都町） 継続検討 引続き、防災アプリにおいて、現在地から近隣の避難所等を検索できるように継続する。

〇概ね5年（R4～R8：第2期）で実施する取組の実施状況

〔フォローアップ資料〕

項目	事項	項目	実施機関	(評価)	R7年度の取組状況	R8年度の取組予定	摘要
		わかりやすい切迫性のある河川情報画面の改良等					
		・ホームページやデータ放送等の住民にわかりやすい画面への改良や説明の表示	鳥取県 気象台	○ 必要に応じて随時実施	ダム情報のわかり情報発信のためのHP改修 済	継続実施	(河川課)
			米子市	○ HP等の住民にわかりやすい画面への改良や説明の表示		継続実施	
			境港市	○ 出前講座、市報等を活用した周知		継続実施	
			日吉津村	○ HPでハザードマップを公開		継続実施	
			大山町	○ 適宜、住民へ向け周知		随時実施	
			南部町	○ 周知を実施		継続実施	
			伯耆町	○ 適宜、住民へ向け周知		継続実施	
			日南町	○ 適宜、住民へ周知		継続実施	
			日野町	○ 適宜周知を実施		継続実施	
			江府町	○ ホームページのアクセス方法の周知		継続実施	
			鳥取県	○ 県広報を活用		必要に応じ継続実施	(河川課)
			気象台	○ 防災学習や出前講座、イベント等で周知		継続実施	
			国交省	○ 川の防災情報や地上デジタル放送のデータ放送の活用促進のため の周知		継続実施	(日野川河川)
				○ 6/17 洪水予報連絡会、水防連絡会で周知を実施。		継続実施。	(出雲河川)
		防災行動計画（タイムライン）の作成・配布による避難行動及びタイミングの明確化					
			米子市	○ 県管理水位周知河川のタイムラインの運用及び検証		継続実施	
			日吉津村	△ 検討実施		継続して検討	
			日南町	○ 防災専門員による出前講座にて適宜周知		継続実施	
			日野町	△ 検討中		継続して検討	
			鳥取県	○ 県広報を活用		佐治川流域安全確保の検討を踏まえた対策（ロードマップ）を参考に対策を検討	(河川課)
			気象台	○ 自治体を実施する訓練への協力と防災対応など必要に応じて随時実施		自治体が実施する訓練への協力と防災対応など必要に応じて随時実施	
			国交省	○ 関係機関と連携したタイムラインの検討		継続実施	(日野川河川)
				－ 要請が無く未実施。		継続実施。	(出雲河川)
			米子市	○ 避難ノートを配布後、活用のための講座等開催		継続実施	
			日吉津村	○ 自主防災組織ごとに任意で作成		継続実施	
			南部町	△ 自主防災組織で任意に作成		継続実施	
			伯耆町	○ 検討中		継続実施	
			日南町	○ 防災専門員による出前講座にて適宜周知		継続実施	
			日野町	× 未実施		適宜実施	
			鳥取県	○ 家族も含めた自助・共助による避難行動の重要性の周知		家族も含めた自助・共助による避難行動の重要性の周知	(危機管理部)
			米子市	○ わかりやすい避難情報の伝達文の検討		継続実施	
			境港市	○ 防災行政無線でも聞き取りが容易な伝達文の検討		継続実施	
			日吉津村	○ 避難情報伝達文の検討		継続検討	
			大山町	○ わかりやすい避難情報の伝達文の検討		継続実施	
			南部町	○ 伝達文の検討し地域防災計画に一例を資料掲載		検討継続	
			伯耆町	○ 適宜検討		継続実施	
			日南町	○ 適宜検討・改良		継続実施	
			日野町	○ 適宜検討・改良し実施		継続実施	
			江府町	○ 避難情報発信文の検討		継続検討	
			鳥取県	○ 必要に応じ市町村の相談に対応		必要に応じ市町村の相談に対応	(危機管理部)
		円滑な避難を促すわかりやすい避難情報の伝達文の検討					

〇概ね5年（R4～R8：第2期）で実施する取組の実施状況

〔フォローアップ資料〕

項目	事項	項目	実施機関	（評価）	R7年度の 取組状況	R8年度の 取組予定	摘 要
				前例しで実施：◎ 予定通り実施：○ 作業中：△ 未着手：×			
	多様な手段での河川情報の提供による確実な情報伝達 ・河川情報画面の提供先拡大（データ放送、CATV） ・ブッシュ型の洪水情報の発信	鳥取県	鳥取県	×	未実施	必要に応じて検討	（河川課）
		鳥取県	鳥取県	○	とりびメールの活用	継続実施	（河川課）
		米子市	米子市	○	避難ノートによる防災サインの普及促進	継続実施	
		境港市	境港市	○	各種機会を捉えた市民への普及促進	継続実施	
		日吉津村	日吉津村	×	未実施		
		大山町	大山町	×	未実施	継続検討	
		南郷町	南郷町	×	未実施	防災スイッチなど検討	
		伯耆町	伯耆町	×	未実施	適宜、普及促進	
		日南町	日南町	×	未実施	検討実施	
		日野町	日野町	×	未実施	継続検討	
		江府町	江府町	×	未実施	継続検討	
		鳥取県	鳥取県	×	未実施	普及促進を図る	（河川課）
	重点監視区間の設定と河川監視カメラ・水位計・量水標等の設置（再掲）						
■要配慮者利用施設における確実な避難							
		米子市	米子市	○	避難行動要支援のため施設管理者へ訪問及び説明を実施	継続実施	
		日吉津村	日吉津村	×	未実施	検討実施	
		南郷町	南郷町	△	取組準備中	継続実施	
		伯耆町	伯耆町	○	取組を検討中	継続実施	
		日南町	日南町	○	防災専門人による出前講座にて適宜周知	継続実施	
		日野町	日野町	○	適宜相談に対応	継続して実施	
		鳥取県	鳥取県	○	必要に応じて市町村等の相談に対応	必要に応じて市町村等の相談に対応	（危機管理部）
		気象台	気象台	○	施設を訪問して説明を実施	継続実施	
		国交省	国交省	○	施設管理者への説明会実施	継続実施	（日野川河川） （出雲河川）
				－	要請が無く、未実施。	継続実施	
		米子市	米子市	○	避難確保計画の作成支援	継続実施	
		日吉津村	日吉津村	○	更新作業の実施	継続実施	
		南郷町	南郷町	△	取組を検討中	取組を検討中	
		伯耆町	伯耆町	○	適宜実施	継続実施	
		日南町	日南町	○	避難確保計画の策定及び町総合防災訓練に合わせ避難訓練を実施	継続実施	
		日野町	日野町	○	適宜実施	継続して実施	
		鳥取県	鳥取県	○	必要に応じて市町村等の相談に対応	必要に応じて市町村等の相談に対応	（危機管理部）
		国交省	国交省	○	避難確保計画の作成や避難訓練実施の支援	継続実施	（日野川河川） （出雲河川）
				－	要請が無く、未実施。	継続実施	

○概ね５年（R4～R8：第２期）で実施する取組の実施状況

[フオローアップ資料]

項目	事項	項目	実施機関	(評価)	R7年度の 取組状況	R8年度の 取組予定	摘 要
■市町村長による避難指示等の適切な発令のための環境整備							
河川	避難指示等の目安となる河川 水位情報の自動配信	鳥取県	鳥取県	○ 水位到達情報の発信		継続実施	(河川課)
		米子市	米子市	○ 河川管理者と市町村長とのホットラインの定着		継続実施	
		境港市	境港市	○ 河川管理者と市町村長とのホットラインの定着		継続実施	
		日吉津村	日吉津村	○ 出水期前に確認		継続実施	
		大山町	大山町	○ 河川管理者と市町村長とのホットラインの定着		継続実施	
		南郷町	南郷町	○ 継続実施		継続実施	
		伯耆町	伯耆町	○ 必要に応じて情報共有		継続実施	
		日南町	日南町	○ 豪雨時等、ホットラインを活用した連絡を実施		継続実施	
		日野町	日野町	○ 河川管理者と市町村長とのホットラインの定着		継続実施	
		江府町	江府町	○ ホットラインの確認		継続実施	
	過去の洪水時の雨量と水位の 関係整理	鳥取県	鳥取県	○ ホットラインの更新、出水前の情報共有		引き続き実施	(米子県土)
		鳥取県	鳥取県	○ ホットラインの確認		継続実施	(日野県土)
		気象台	気象台	× 未実施		必要に応じ実施	(河川課)
		気象台	気象台	× 未実施		必要に応じ実施	
		わかりやすい切迫性のある河川 情報画面の改良等（再掲）					
		多様な手段での河川情報の提供 による確実な情報伝達（再 掲）					
防災行動計画（タイムライ ン）等の作成・配布による選 択行動及びタイミングの明確 化（再掲）							
重点監視区間の設定と河川監 視カメラ・水位計・重水標等 の設置（再掲）							

佐陀川外流域治水プロジェクト（県西部東エリア）【位置図】

流域治水プロジェクト

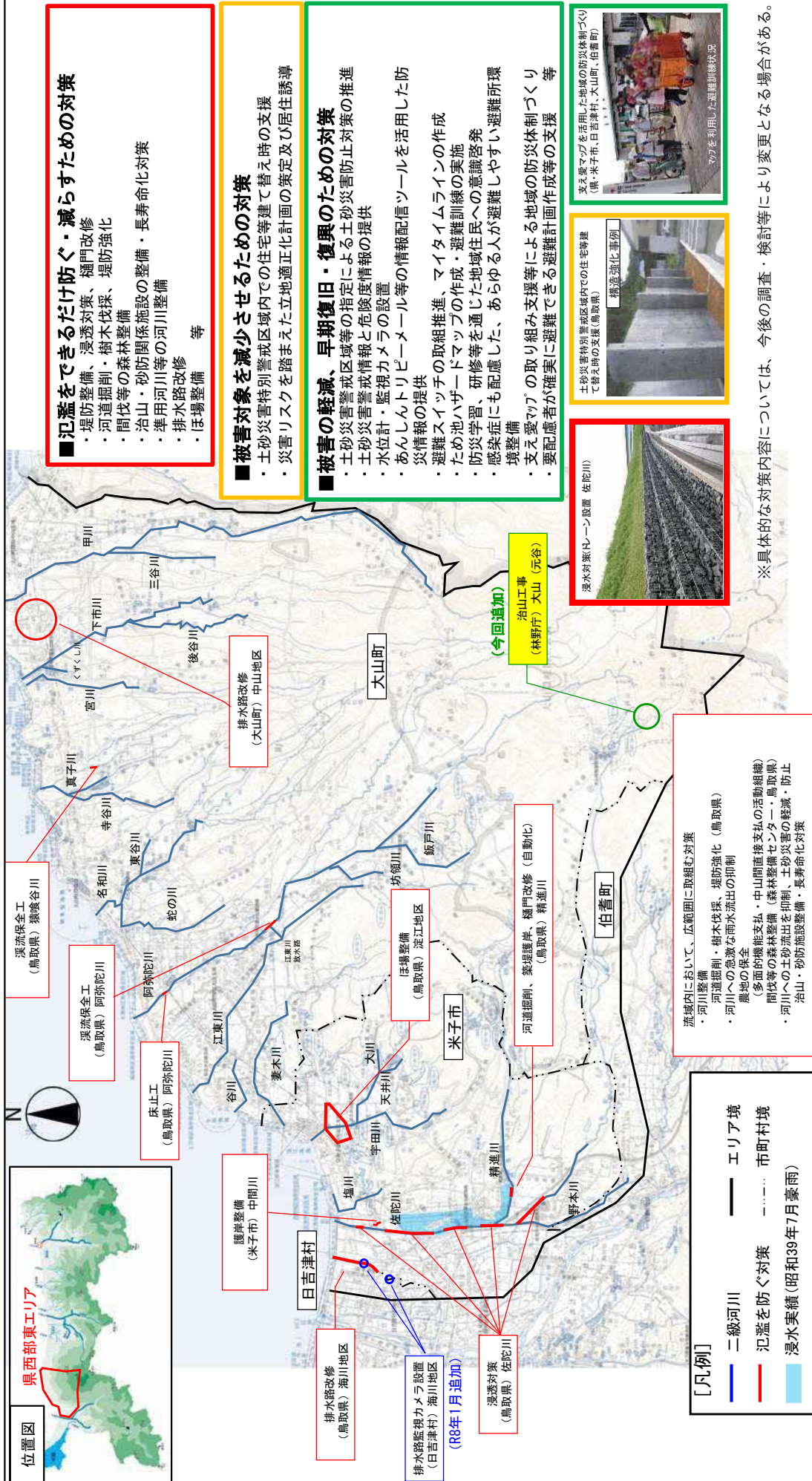
「流域治水」により流域全体で行う

【R8年6月更新予定】

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、二級水系においても事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図ります。

このうち、佐陀川及び精進川については、観測史上最大降雨が発生した昭和39年7月の豪雨と同規模の洪水を安全に河道に流下させ、洪水による被害の軽減を図ります。

○あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取組を実施し、「逃げ遅れゼロ」を目指します。



二級水系
流域治水プロジェクト

二級水系佐陀川外流域治水プロジェクト（県西部東エリア）
【ロードマップ】

【R8年6月更新予定】

●流域エリア全体を俯瞰的にとらえ、流域に関連する機関が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】精進川の河道掘削・護岸整備を行う。

【中期】佐陀川の堤防の浸透対策を行う。

【中長期】河道掘削や樹木伐採を必要に応じて実施していくほか、逃げ遅れゼロを目指した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備、防災学習、研修等を通じた地域住への意識啓発などソフト対策を継続的に実施する。

佐陀川外流域治水プロジェクト（県西部東エリア）

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	(佐陀川)浸透対策	鳥取県			
	(精進川)河道掘削・築堤護岸	鳥取県			
	(県管轄河川)河道掘削・樹木伐採	鳥取県			
	間伐等の森林整備	森林整備センター 鳥取県			
	治山施設の整備・長寿命化対策	鳥取県、林野庁			
	砂防関係施設の整備・長寿命化対策	鳥取県			
	(阿弥陀川)床止工	鳥取県			
	(阿弥陀川)逆流保全工	鳥取県			
	(猿喰谷川)逆流保全工	鳥取県			
	(中間川)護岸整備	米子市			
	(中山地区)排水路改修	大山町			
	(淀江地区)ほ場整備による雨水貯留対策	鳥取県			
	(海川地区)排水路改修	鳥取県			
	土砂災害特別警戒区域域内での住宅建て替え時の支援	鳥取県、米子市 大山町、佐藤町 日吉津村			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	災害リスクを踏まえた立地適正化計画の策定及び居住誘導	米子市			
	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害防止対策の推進	鳥取県			
	土砂災害警戒情報と危険度情報の提供	鳥取県			
	水偵計・監視カメラの設置	鳥取県、日吉津村			
	あんしんトリビュート等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供	鳥取県、米子市 大山町、佐藤町 日吉津村			
	避難スミットの取組推進、マイ・タイムラインの作成	鳥取県、米子市 大山町、佐藤町 日吉津村			
	ため池ハザードマップの作成・避難訓練の実施	米子市、大山町			
	防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発	鳥取県、米子市 大山町、佐藤町 日吉津村			
	感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備	米子市、日吉津村 大山町、佐藤町			
	支援マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	鳥取県、米子市 大山町、佐藤町 日吉津村			
	要配慮者が増える個別避難計画作製の推進	米子市、日吉津村 大山町、佐藤町			

R7年度末時点 取組状況

佐陀川外域流域治水プロジェクト(県西部東エリア)〔フォローアップ資料〕

評価凡例] 前倒しで実施:◎、予定通り実施:○、作業中:△、未着手:×、R7年度対象外:－)

[illegible]

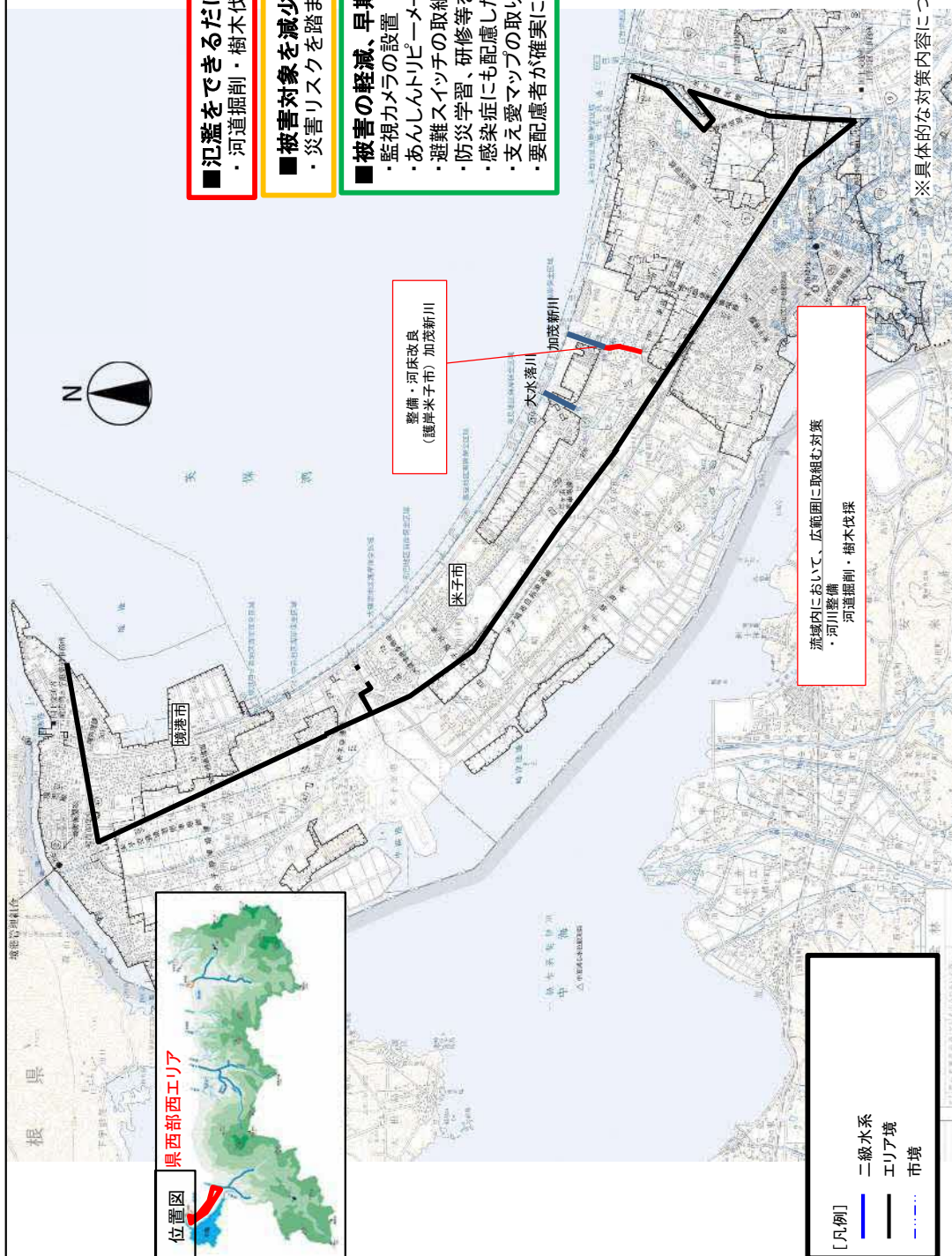
加茂新川外流域治水プロジェクト（県西部西エリア）【位置図】

二級水系
流域治水プロジェクト

～あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、二級水系においても事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図る。

○あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取組を実施し、「逃げ遅れゼロ」を目指します。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

二級水系
流域治水プロジェクト

加茂新川外流域治水プロジェクト（県西部西エリア）
【ロードマップ】

●流域エリア全体を俯瞰的にとらえ、流域に関連する機関が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期～中長期】逃げ遅れゼロを目指した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備、防災学習、研修等を通じた地域住への意識啓発などソフト対策を継続的に実施する。

加茂新川外流域治水プロジェクト（県西部西エリア）

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削・樹木伐採	鳥取県			
	(加茂新川)護岸整備・河床改良	米子市			
		米子市			
被害対象を減少させるための対策	災害リスクを踏まえた立地適正化計画の策定及び居住誘導	米子市			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	監視カメラの設置	鳥取県			
	あんしんトリピーメール等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供	鳥取県 米子市、境港市			
	避難スイッチの取組推進、マイ・タイムラインの作成	鳥取県 米子市、境港市			
	防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発	鳥取県 米子市、境港市			
	感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備	米子市、境港市			
	支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	鳥取県 米子市、境港市			
	要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成等の推進	米子市、境港市			

加茂新川外域流域治水プロジェクト(県西部西エリア)(フォローアップ資料)

R7年度末時点 取組状況

〔評価凡例〕 前倒しで実施:◎、予定通り実施:○、作業中:△、未着手:×、R7年度 対象外:ー)

区分	対策内容	実施主体	工程			地区等	評価	R7年度の 取組状況	R8年度の 取組予定	摘要
			短期	中期	中長期					
見直しをできるだけ防ぐ、 減らすための対策	河道掘削・樹木伐採	鳥取県					ー	予定なし(堆積状況に応じた維持対応を実施)	予定なし(堆積状況に応じた維持対応を実施)	
	(加茂新川)護岸整備・河床改良	米子市				(米子市)	◎	護岸改修工事の実施(L=20m)	護岸改修工事の実施(L=60m)	
	(上福原五丁目地内ほか)雨水威排水対策	米子市				(米子市)	△	測量設計実施、工事実施(L=224m)	工事実施(R43)号区間(L=113m)	
	(東福原四丁目・五丁目地内)雨水排水対策	米子市				(米子市)	○	測量設計実施、工事実施(L=78m)	工事実施(L=100m)	
	(車庵・中島地内)雨水排水対策	米子市				(米子市)	○	工事実施(L=205m)	工事実施(L=192m)	
被害対象を減少させる ための対策	災害リスクを踏まえた立地適正化計画の策定及び居住誘導	米子市				(米子市)	○	策定した計画に基づく居住誘導	策定した計画に基づく居住誘導	
被害の軽減、早期復 旧・復興のための対策	監視カメラの設置	鳥取県					ー	予定なし(当面の予定箇所は完了)※R6設置済	予定なし(当面の予定箇所は完了)※R6設置済	
	あんしんトリビュートメール等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供	鳥取県 米子市 境港市				(鳥取県)	○	あんしんトリビュートメール、アプリといった県運営ツールに加え、X (旧Twitter)等のSNSを活用した防災・危機管理情報の発信、気象情報や河川・道路カメラ映像等を集約して公開する「防災情報ポータルサイト」の運用を実施する。また、総合防災情報システムを活用し県民向けに避難情報や避難所情報等を発信す	あんしんトリビュートメール、アプリのほか、気象情報や河川・道路カメラ映像を集約して公開する「防災情報ポータルサイト」、避難情報や避難所情報等を発信する防災Webといった県運営ツールに加え、X (旧ツイッター)等のSNS、Yahoo!防災といった民間サービスを活用した防災・危機管理情報の多様な手段	危機管理部
						(米子市)	○	情報ツールを活用した防災情報の提供	引き継ぎ実施	
						(境港市)	○	防災行政無線、トリビュートメール、市HP、車両広報等の手段を確	継続実施	
	避難スィッチの取組推進、マイ・タイムラインの作成	鳥取県 米子市 境港市				(鳥取県)	○	専門的知識を有する講師を派遣して、避難スィッチ決定に必要な知識習得の研修実施を支援	専門的知識を有する講師を派遣して、避難スィッチ決定に必要な知識習得の研修実施を支援	危機管理部
						(米子市)	○	避難ノートを活用した啓蒙の推進	引き継ぎ実施	
						(境港市)	○	出前講座、消防防災フェア等を活用した意識啓蒙	継続実施	
	防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓蒙	鳥取県 米子市 境港市				(鳥取県)	ー	実績なし ※エリア外ではあり。	小学校等での防災教育の実施	
						(米子市)	○	地域住民等への出前講座等の実施	引き継ぎ実施	
						(境港市)	○	出前講座、消防防災フェア等を活用した意識啓蒙	継続実施	
	感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備	米子市 境港市				(米子市)	○	資機材整備、マニュアルの改訂による対応の配慮	引き継ぎ実施	
						(境港市)	○	感染症に対応した装備品の点検・補充、避難所環境整備のため資機材整備	継続実施	
						(鳥取県)	○	市町村、社協職員及び防災士等を対象とした支援マップづくり・インストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進	市町村、社協職員及び防災士等を対象とした支援マップづくり・インストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進	危機管理部
	支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	鳥取県 米子市 境港市				(米子市)	○	取り組みに対する地域への支援等の実施	引き継ぎ支援	
						(境港市)	△	市社協に加え、防災担当課・福祉担当課の連携を推進	継続実施	
						(米子市)	○	郵局を横断した計画作成の支援	引き継ぎ支援	
	要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成等の推進	米子市 境港市				(境港市)	△	策定した個別避難計画の点検・更新	継続実施	

第15回日野川水系大規模氾濫時の減災対策協議会(国)
第15回鳥取県西部地区 流域治水及び減災対策協議会(県)
〔同日開催〕

説明資料1

日 時: 令和8年6月5日(金)午後2時00分～
場 所: 日野川河川事務所別館2階大会議室
(一部オンライン会議併用)

1

次 第

1. 開会

2. 議事

- (1) 令和8年出水期の天候の見込みと気象情報の改善について
- (2) 一級河川日野川水系における大規模氾濫時の減災対策にかかる取組みについて
- (3) 令和7年度・令和8年度の減災に係る取組について
- (4) 二級水系流域治水プロジェクトについて
 - ・各機関の取組について
- (5) 情報提供・意見交換

3. 閉会

2

(1) 令和8年出水期の天候の見通しと 気象情報の改善について

気象台資料を用いて説明

3

(2) 一級河川日野川水系における大規模氾濫時の 減災対策にかかる取組みについて

国資料を用いて説明

4

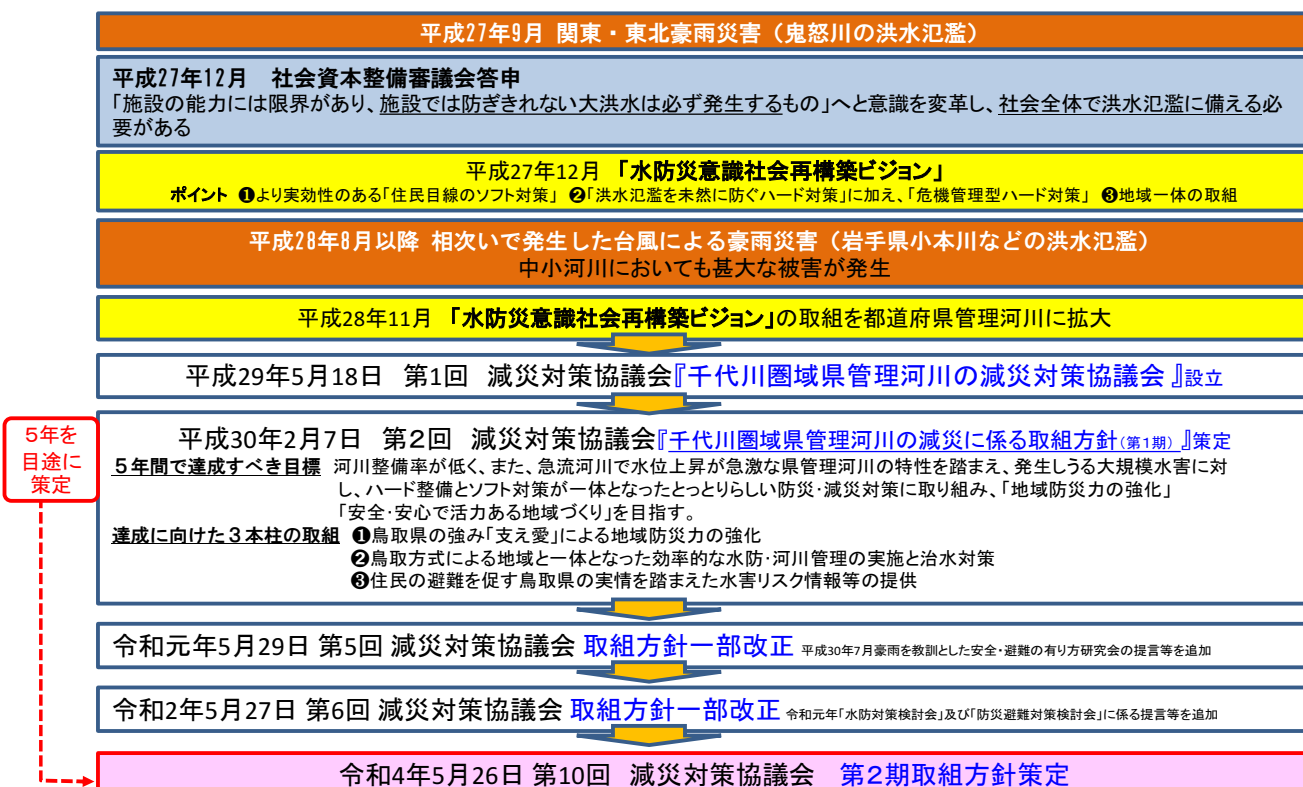
(2) 令和7年度・令和8年度の減災に係る取組について

5

(3) 令和7年度・令和8年度の減災に係る取組について

県

- 平成29年度に当初策定した『減災に係る取組方針(第1期)』の対象期間(5年)が令和3年度に経過
- 令和4年度にこれまでの取組状況等を踏まえて、第2期目となる『減災に係る取組方針』(対象期間:R4～R8)を策定した。毎年、取組状況をフォローアップしていく。



※毎年協議会で取組状況をフォローアップ

6

減災のための目標

第2期(R4~R8)

5年間で達成すべき目標

河川整備率が低く、また、急流河川で水位上昇が急激な県管理河川の特性を踏まえ、発生しうる大規模水害に対し、ハード整備とソフト対策が一体となった、とっとりらしい防災・減災対策に取り組み、「地域防災力の強化」「安全・安心で活力ある地域づくり」を目指す。

達成に向けた3本柱の取組

- ①鳥取県の強み「支え愛」による地域防災力の強化
②鳥取方式による地域と一体となった効率的な水防・河川管理の実施と治水対策
③住民の避難を促す鳥取県の実情を踏まえた水害リスク情報等の提供

※引き続き、平成30年7月豪雨を教訓とした安全・避難対策のあり方研究会・令和元年台風19号、令和5年台風7号を受けての鳥取県水防対策検討会等の結果を踏まえた取組を推進する

- ・ 令和8年度が第2期の最終年度
- ・ 完了事業や継続する取り組みを整理し第3期取組方針を策定する

取組1 河川・堤防機能の脆弱性評価を活用したハード対策の推進

繼續實施

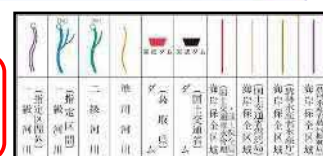
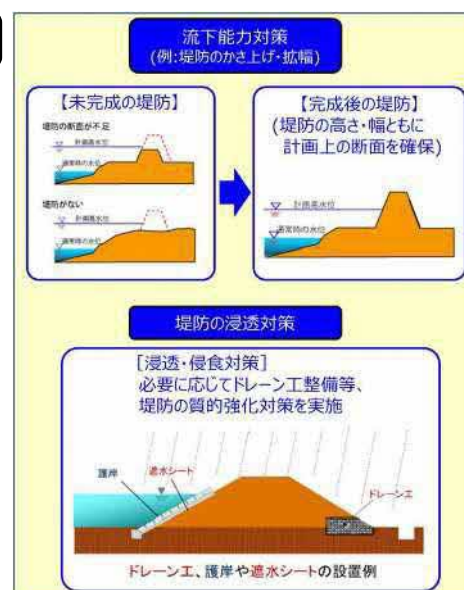
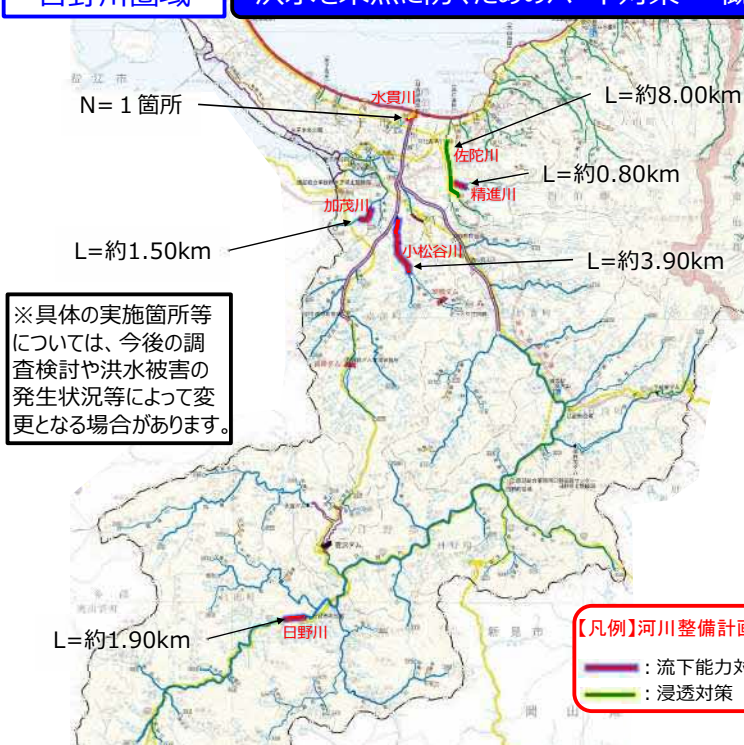
目

河川整備計画に基づき、治水対策を着実に推進していく。

日野川巻域

洪水を未然に防ぐためのハード対策 概要図

概要図



○小松谷川(米子市青木付近)における流下能力対策工事を重点的に実施中。

取組2 樹木伐採・河道掘削の推進

継続実施

県

河川の氾濫リスクの軽減を目的として、治水安全度を計画的に向上させるために必要な**樹木伐採・河道掘削**を防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策、緊急浚渫推進事業債の予算を活用しながら、**計画的に実施**してきたところであり、**台風第7号において、人的被害がなかったことはこれまでの取り組みの成果**。

【令和7年度実施箇所】

小田川(岩美町院内)、国府川(倉吉市服部)、日野川(日野町中菅)外

【令和8年度実施予定】

砂田川(鳥取市東大路)・有富川(西今在家)外、八東川(八頭町万代寺～米岡)、新加茂川(米子市長砂)・阿弥陀川(大山町神原)外、印賀川(日野町福長)外

予算推移



＜実施要件：5か年加速化対策＞(R3年度※R2国補正前倒し～R7年度)

- ①流域治水(事前防災)の位置づけで実施され一定の効果を見込める箇所
- ②次のいずれかに該当する河川
 - ・毎年度実施する維持的な伐採・掘削以外の箇所
 - ・近年浸水実績があった場所
 - ・河川背後や浸水想定区域内に家屋、重要施設がある箇所
 - ・鳥取方式洪水浸水リスク図の浸水範囲 等

＜実施要件：緊急浚渫事業債＞(R2年度～R11年度)

- ①県管理河川は全ての箇所が対象※個別計画の提出が必要

効果事例



令和7年度 実施事例



9

取組3 「鳥取方式」浸水リスク図の公表(済)及び中小河川浸水想定(想定最大規模)について

R1完了・継続実施

県

水位周知河川等以外の県管理河川を対象に、県民皆様の適切な避難行動への一助とすることを目的として、「鳥取方式」浸水リスク図※1を公表済み。(※1シミュレーションの対象降雨は計画規模(1/50 以下は一律 1/50))
また、令和3年の水防法改正により、水害リスク情報の空白地帯解消を目的に、**想定最大規模での浸水想定区域図及びハザードマップの公表が全ての一級・二級河川や下水道に拡大された**。
浸水想定は令和7年度まで、**ハザードマップは令和8年度までの完了を目標※2としている**。

※2 令和5年度から浸水想定作成のためのシステムを構築中です。

■水害リスク情報の空白域において浸水被害が多発

令和元年東日本台風では、堤防が決壊した71河川のうち43河川(約6割)、内水氾濫による浸水被害が発生した135市区町村のうち126市区町村(約9割)が水害リスク情報の空白域。



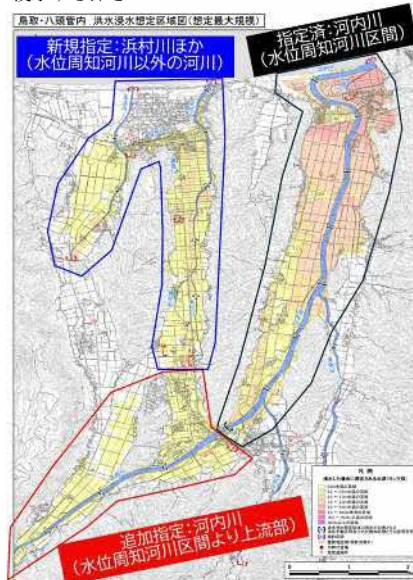
■水防法を改正し、浸水想定区域の指定対象を拡大

河川(洪水浸水想定区域)では約15,000河川、下水道(雨水出水浸水想定区域)では約1,000河川が新たに指定対象として追加。



＜公表内容の事例＞

想定最大規模の降雨(確率規模約1/1000)時に浸水する深さ



- この度、県管理河川(294河川)のうち沿川に家屋等の防御対象がある279河川について、解析・とりまとめが完了し、関係市区町村への説明も終えたことから、**水防法14条の規定に基づき指定・公表を行った**。(告示、公表日：令和8年3月31日)

➤ スケジュール

OR6～7年度

- ・県が**対象279河川**の洪水浸水想定図を作成し公表

OR8年度以降

- ・各市町村が、洪水浸水想定区域図をもとに、ハザードマップを作成予定

➤ 公表先

鳥取県河川課HP

<https://www.pref.tottori.lg.jp/303920.htm>



取組4 地域の支え愛マップづくりを通じた地域防災力向上

県

支え愛マップの取り組み支援等について、次のような取り組みを実施している。

①支え愛マップづくりインストラクター養成研修

【目的】マップづくりの推進役として自治会等を支援するスタッフを育成する。

【対象者】市町村社会福祉協議会職員、市町村職員、防災士等

【R7実績】(内容)マップづくり体験、個人情報保護法の基礎、災害情報の取得、まちあるきのポイント、ファシリテーションスキルの習得、地域アセスメントについて

(参加者数)188名

(開催日・場所)7/31鳥取県立福祉人材センター、8/4米子コンベンションセンター
8/5、9/8倉吉福祉センター、10/16倉吉体育文化会館

②支え愛マップづくりの取組状況

【目標】1,100地区(R9年度末)

【実績】1,063地区(R7年度末)【R7実績】新たに59地区が作成

【取組時に活用いただきたい動画(県社協作成)】

支え愛でまちづくり! ~「支え愛マップ」でつながる地域~

<https://www.youtube.com/watch?v=HaDYnCUTO9w>(YouTubeにて公開) ~「支え愛マップ」でつながる地域~



支え愛でまちづくり!
~「支え愛マップ」でつながる地域~

取組状況

支え愛マップ作成状況



支え愛マップ完成



マップを活用した避難訓練や救急救命研修を実施



⇒水害・土砂災害に備え、防災・土木部局が連携して、自治会等に安全な避難場所・経路等について助言するとともに、マップを活用した訓練の実施をサポートしながら、地域防災力の強化を図っていく。

11

取組6

継続実施

あんしんトリピーメール・防災アプリ「あんしんトリピーなび」

県

県内の防災・危機管理情報をいち早くお届けします。いざというとき必要な情報を受け取れるようあらかじめ登録・ダウンロードをしておきましょう。

欲しい情報が選べます

気象警報・注意報 大雨警報、大雪警報、大雨特別警報 等	公共交通情報 列車の運休、航空機の欠航 等
地震情報 震度3以上	道路情報 道路の通行止め 等
津波情報 大津波警報、津波警報、津波注意報	ライフライン情報 停電情報 等
気象情報 土砂災害警戒情報、竜巻注意情報 等	生活・健康情報 黄砂、熱中症警戒アラート、感染症情報 等
防災・危機管理情報 避難情報(避難指示等)、国民保護情報	防犯情報 不審者、行方不明者情報 等

登録・ダウンロード無料

メール受信、ダウンロードにかかる通信費は利用者の負担となります
※通信費は携帯会社との契約内容によって異なります

登録方法はここら

県の公式ホームページ(とりネット)で登録・ダウンロード方法をご案内しています
以下のQRコードを読み取るで該当ページにアクセスできます

■あんしんトリピーメール



■防災アプリ
あんしんトリピーなび



あんしんトリピーメール

登録された方の携帯電話やスマートフォンに電子メールでお知らせするサービスです。

テキスト版と背景色版が選べます

背景色版では、内容によってメール本文の背景色が変わります

赤▶気象特別警報、気象警報の発表や避難情報、国民保護情報など

黄▶気象注意情報の発表、通行止め発生情報、生活・健康情報など

青▶気象警報・注意報の解除、通行止め解除情報、停電復旧情報など



防災アプリ(あんしんトリピーなび)

鳥取県が提供する総合防災アプリです。

多言語
対応

お知らせを一覧で表示

あんしんトリピーメールで配信される防災情報を表示します(プッシュ通知も可能)

最寄りの避難所等を自動リストアップ

マップで現在地からの経路を自動表示します

河川・道路状況のライブ画像

河川水位や道路の積雪等の状況を確認できます

多言語表示に対応

端末の設定言語に応じてアプリ内の表示言語が切り替わります

対応言語

英語、中国語(繁体字)、
中国語(簡体字)、韓国語、
ロシア語、ベトナム語、
フィリピン語、タイ語、
インドネシア語



12

取組 6

鳥取県防災情報ポータルサイト

県

複数のシステム・サイトで分散して提供されている**防災情報を集約したポータルサイト**です。
(R6.6公開、R7.4機能追加)。
速やかな情報発信により県民に対して適時的確な避難行動を促します。



スマートフォンでも閲覧しやすいデザイン



防災情報の一覧表示

あんしんトリビメールで配信される防災情報を表示します。

気象警報などの防災情報を地図上で重ね合わせて表示

地図上で重ね合わせて各種防災情報を表示することで、緊急時にも使いやすく、分かりやすい形で情報を提供します。

アクセス集中時の安定稼働

サイトへのアクセスが集中した時でも安定して動作するサイトです。

防災情報

- ・気象
- ・停電
- ・公共交通
- ・通行規制
- ・お知らせ
- …など

地図表示

- ・気象警報
- ・道路監視カメラ (ゆきみちなび)
- ・河川監視カメラ
- ・ダム、河川水位
- ・雨量
- ・積雪深

13

取組 7、8 河川監視カメラ、水位計の設置状況

継続実施

県

- 重要水防区域や溢水の恐れのある箇所、河川背後地の状況や簡易浸水想定の結果等を踏まえ、河川監視カメラや量水標、水位計等を必要な箇所に継続して設置していく。

【設置状況】 (R8. 3時点)

河川水位計 : 70局
危機管理型水位計 : 103基
河川監視カメラ : 175箇所

※R8年度は、河川監視カメラ 1 基箇所設置予定

公開サイト

鳥取県防災情報ポータル (鳥取県危機管理部提供)
<https://tori-bousai.jp/>
※河川課の河川監視カメラ提供システム、道路企画課の雪みちなび等を集約したサイトを構築したもの



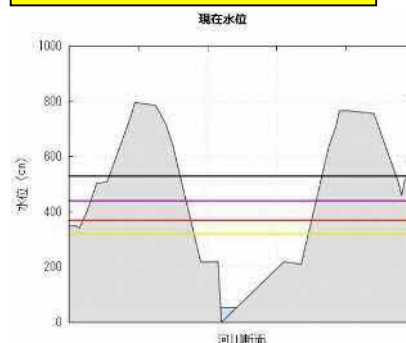
監視カメラ画像：大路川 (鳥取市吉成)



危機管理型水位計の設置事例：江東川 (大山町清原)



水位計画像：大路川 (鳥取市吉成)



【危機管理型水位計の課題】

2～3年での修繕事例が多く、本体交換の事例も必要
(設置費用は安価だが、維持管理費用が増加する場合もある)

14

取組10 ダム放流に関する安全・避難対策

継続実施

県

- 平成30年7月豪雨により愛媛県の肱川(ひじかわ)の野村ダム・鹿野川ダムなど多数のダムで、**計画規模を上回る降水により異常洪水が発生し、下流域で氾濫被害が発生**した。
- 鳥取県ではこの事象を教訓に、「平成30年7月豪雨を教訓とした安全・避難対策のあり方研究会」を設置し、とりまとめた内容を踏まえ、**「豪雨災害での犠牲者ゼロ」**を目指してハード・ソフト対策を進めている。 ※研究会ではダムだけではなく、防災意識醸成、避難体制等についてもとりまとめ

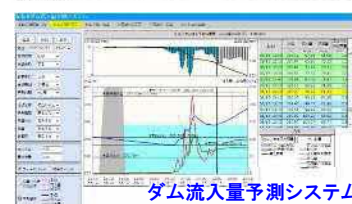
<とりまとめた「ダム放流の安全・避難対策」と⇒進捗>

■継続した取組が必要な対策

- ・ ダム放流時の安全な避難体制について関係者で協議を進める
- ・ 堆砂対策の推進 ⇒ ダム再生事業として検討中
- ・ ダム機能、ダムの放流リスクの住民周知
⇒ 住民説明会や避難訓練の実施
- ・ 防災リーダー育成、避難タイムライン作成、避難訓練の実施

■うち比較的短期間に実施できる対策

- ・ 利水調整関係者協議と事前放流の積極的実施に関する利水調整
⇒ 構造的に事前放流が可能な県内全てのダムで令和2年8月までに「治水協定」を締結済み
- ・ ダム流入予測システムの導入
⇒ 令和2年度に導入し、令和4年6月に本格運用開始
(佐治川ダム、賀祥ダム)
- ・ ダム下流部の浸水想定区域図の作成 ⇒ 令和3年6月公表
(公表までに住民説明を実施)
- ・ 水位計、ライブカメラの設置、警報車からのアナウンス改善等
あらたな情報配信の検討⇒ 水位計、ライブカメラの増設
警報局の増設と放送文の改善



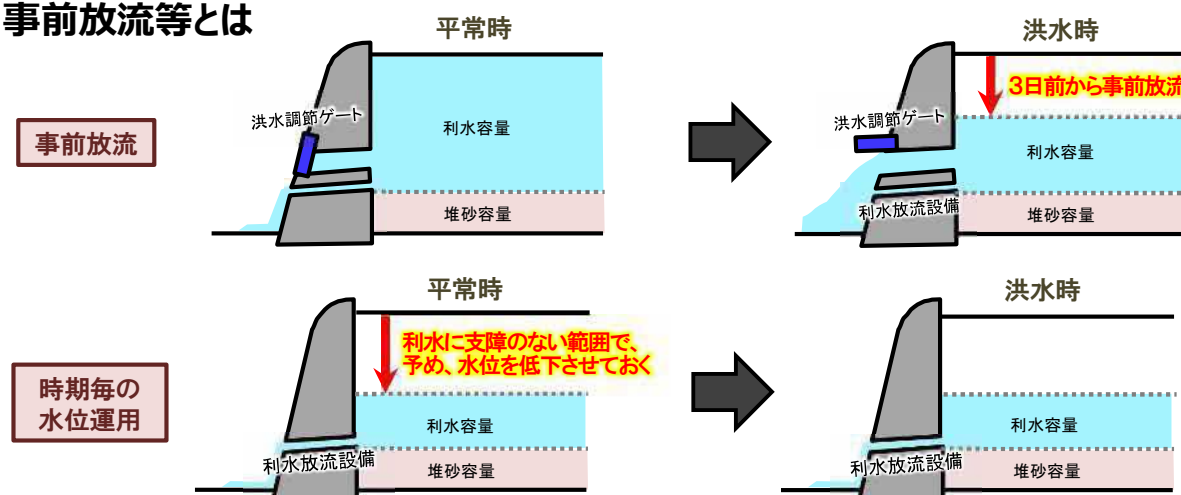
15

鳥取県河川課

既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた取組

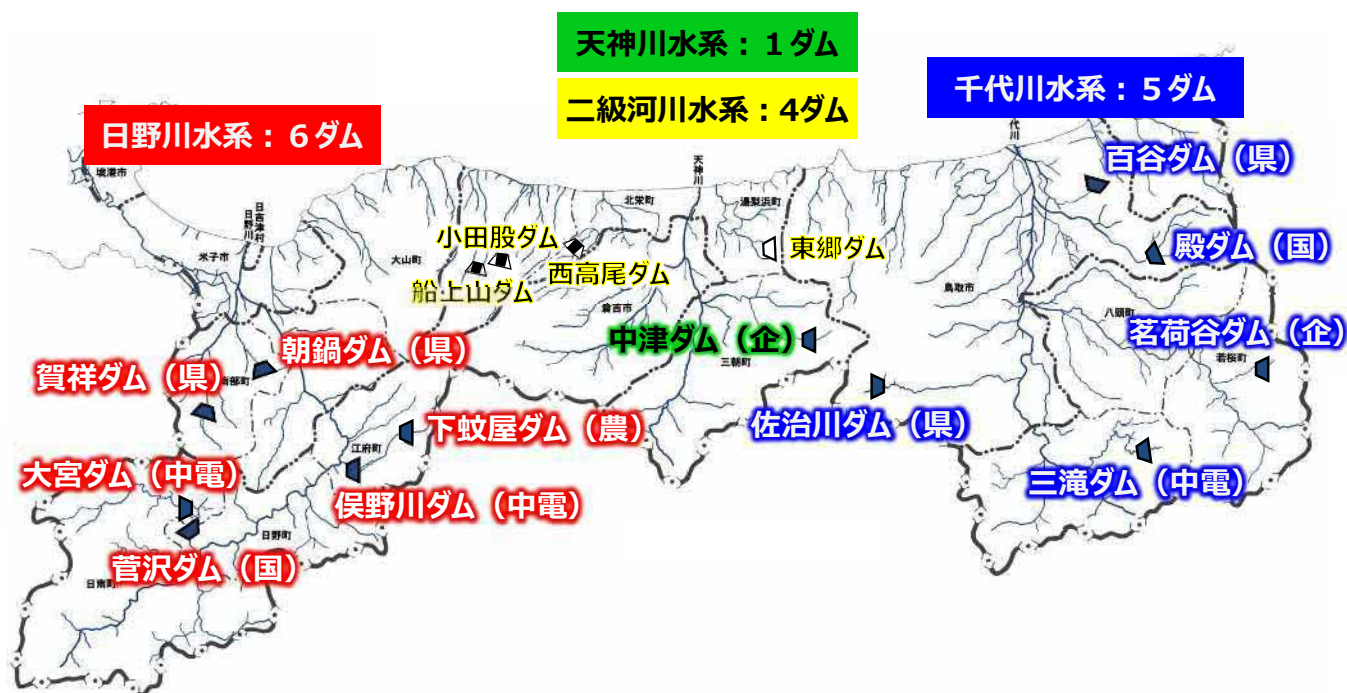
- ◎ 令和元年東日本台風を受け、令和元年12月、政府は、『既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本方針』を打ち出しました。これにより、
 - ① **全国全ての既存ダム(治水ダム・利水ダムともに)で『事前放流等』を実施する。**
 - ② **水系毎に、河川管理者・ダム管理者・関係利水者が一同で、事前放流等の方法を記した『治水協定』を締結する。** ことになりました。
- ◎ 鳥取県内では、全てのダムにおいて治水協定を締結し、事前放流による洪水調節機能の強化を図っています。

事前放流等とは



16

既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた取組



17

既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた取組

県

国

ダムの諸元						事前放流の内容※注	
水系	ダム名	管理者	有効貯水容量 (a+b)	洪水調節容量 (a)	利水容量 (b)	基準 降雨量	洪水調節 可能容量
日野川	菅沢ダム	国交省	1,720万m ³	【7月】 250万m ³ 【8月】 680万m ³ 【9月】 1,650万m ³ 【10月】 510万m ³ 【ほか】 160万m ³	【7月】 1,470万m ³ 【8月】 1,040万m ³ 【9月】 70万m ³ 【10月】 1,210万m ³ 【ほか】 1,560万m ³	241mm	104.2万m ³
〃	賀祥ダム	県	669万m ³	330万m ³	339万m ³	別途運用	182万m ³
〃	朝鍋ダム	県	119万m ³	64万m ³	55万m ³	—	26.5万m ³
〃	俣野川ダム	中電	670万m ³	—	670万m ³	251mm	670万m ³
〃	大宮ダム	中電	31.9万m ³	—	31.9万m ³	241mm	31.9万m ³
〃	下蚊屋ダム	農水省	344万m ³	—	344万m ³	—	26.4万m ³

(※注) ① 累計降雨量が基準降雨量に到達することが予想される場合、3日間で、洪水調節可能容量の範囲内で事前放流を実施する。

② 朝鍋ダムについては、「時期毎の水位運用」とする。

18

安全・確実な住民避難につなげるための防災対策

県

日野川圏域における取組状況（R8年度以降も継続）

【防災避難対策（ソフト対策）】

「防災教育」の実施

- 【令和3年度】 八郷小（伯耆町）、会見小（南部町）
- 【令和4年度】 会見小（南部町）、箕蚊屋小（米子市）
- 【令和5年度】 車尾小・就將小・箕蚊屋小（米子市）、大山小（大山町）
- 【令和6年度】 消防学校（米子市）、二部小（伯耆町）、大山小（大山町）
- 【令和7年度】 二部小、八郷小（伯耆町）大山小（大山町）、会見小（南部町）



「河川監視カメラ・低コストの水位計」の増設

令和7年度までの実施状況

- 【河川監視カメラ】 33箇所（加茂新川（米子市）ほか）
- 【危機管理型水位計】 20箇所（加茂川放水路（米子市）ほか）

令和8年度以降

- 【河川監視カメラ】 朝鍋ダム（南部町）ほか
- 【危機管理型水位計】 必要に応じて追加設置



【水防対策（ハード対策）】

●堤防強化



令和7年度までの実施状況

バックウォーター区間、重要水防区域A、Bにおける堤防舗装

（小松谷川・北方川・網屋川（南部町）、佐陀川・精進川・野本川（米子市）、清山川（伯耆町））

令和8年度以降

重要水防区域B、Cにおける堤防舗装（網屋川ほか）

●排水機場整備

・水貫川で整備中



●河川改修

・日野川（霞地区）で整備中



19

安全・確実な住民避難につなげるため防災対策

鳥取県における取組状況（令和8年度以降も継続実施）

【防災避難対策（ソフト対策）】

- 『洪水・土砂災害』の概要、水害リスク、流域治水の取組、避難等を小学校を中心に防災学習、出前説明を実施した。
- 防災フェスタに水防に関する展示を行い、防災意識の向上を図った。
- 住民の防災意識向上、避難行動促進のため、子どもへの防災学習は非常に有効であるため、令和8年度も引き続き実施していく。

【主な実施状況】

- ・7月15日 修立小学校 5年生35名
- ・10月2日 津ノ井小学校 4年生25名
- ・10月23日 米里小学校 4年生23名
- ・9月20日 防災フェスタ開催（展示出店）
- ・11月10日 宝木地区住民防災学習
- ・6月26日 FM鳥取出演
- ・7月8日 FM米子出演



土砂災害、流域治水の模型実験の様子

小学校における防災教育の実施



FM ラジオへの出演



防災フェスタの実施状況



【水防対策（ハード対策）】

- ・令和元年台風19号の甚大な浸水被害が発生したことを踏まえ、本県の課題の抽出及び取り組むべき対策を検討するため、有識者・関係行政機関で構成する「水防対策検討会」を設置した。
- ・検討会による提言をうけ、速やかに取組を進め早期に効果を発現させるべき内容について、事業を実施中。

【提言内容】

「できる限り越水による堤防決壊を遅らせて避難の時間を稼ぐ対策（粘り強い堤防）」及び「バックウォーター対策」を短期的に取り組むべき。

【事業内容】

- ①堤防強化対策（堤防舗装、大型土のう購入）
- ②浸水想定区域に関する住民理解促進（浸水表示板の設置）
- ③バックウォーター対策（樹木伐採・河道掘削）
- ④河川情報（水位計・河川監視カメラ）の発信強化
- ⑤ダム放流に関する安全・避難対策（説明会の開催）

堤防舗装の実施状況

- ・令和5年度予算までで、予定していた重要水防A区間及びバックウォーター箇所等の優先箇所の対策が完了した。
- ・今後は、未実施である重要水防区間Bや個別の優先すべき箇所を引き続き実施していく。

精進川（米子市尾高）



大路川（鳥取市吉成）



(4) 二級水系流域治水プロジェクトについて

21

流域治水の概要

資料10

令和3年度にモデル地区（大路川流域）で協議会を設立し、流域のあらゆる関係者と連携して流域治水の様々な取組を進め、令和6年度からその成果を全県に展開している。



流域治水の概要

近年激甚化・頻発化する水災害に対応するため、河川整備を促進させながら、流域のあらゆる関係者が協働で取り組む「流域治水」を推進している。

<流域治水の目的>

- 降雨流域全体（河川区域、集水域、氾濫域）で対策を総動員し、
 - ①豪雨時に雨水を貯留すること等により、避難する時間を少しでも稼ぐ。
 - ②取組全体を通して、防災意識を向上させ、住民の確実な避難行動に結びつける。

<取組事例>

河川整備・監視体制強化、防災学習、避難訓練、雨水貯留タンク、田んぼダム、校庭貯留など

⇒（ポイント）流域治水はあらゆる関係者が「自分事」として、取り組むことが重要である。

洪水被害軽減の種類

- ①河川の流下能力向上
- ②貯水による水位低下
- ③防災意識の向上
- ④早期避難
- ⑤情報発信による避難誘導

河川整備



計画規模（1/50等）での整備を推進
⇒整備に時間と費用を要する。
（大路川40年間、140億円）
（殿ダム27年間、888億円）

監視体制の強化、情報発信



増水時の河川状況を確認するため、監視カメラ及び水位計を設置し情報発信

リスクの把握



県が想定最大規模の浸水想定区域図を作成し、市がハザードマップに反映
浸水深表示板による見える化も実施中



雨水貯留



河川への流入を抑えるため、様々な手法で雨水貯留対策を推進。これらの取組は初期雨量に対する効果、避難時間を確保する効果がある。

防災学習、イベント参加



2025社会小防災学習 2025防災フェスタ 2025鳥取市総合防災訓練
小学校、地元住民への防災学習を実施

避難訓練、備蓄



鳥取県地区避難訓練
災害発生時の被害を軽減するため、地区・町内単位で避難訓練や備蓄を実施

流域治水の全県展開

県

- モデル地区での取組をまとめた「大路川流域治水ビジョン」を活用しながら、令和7年度は、情報発信、雨水貯留タンク設置に合わせた防災学習等に注力し、流域治水の取組を周知の拡大を図りました。
- 令和8年度も引き続き、全県展開を進めていきます。

<県内関係機関への周知>

国、県、全市町村のほか関係機関が出席する「流域治水及び減災対策協議会」でビジョン内容を紹介



<防災学習の実施>

県内小学校等で水害リスクや流域治水等の防災学習を実施

泊小学校 R6.6.18



貫井ダム R6.12.7



修立小学校 R6.9.18



<雨水貯留タンクの試行設置拡大>

中部、西部にも雨水貯留タンクの試行設置を拡大(R6:4基、R7:4基)

<広報誌の発行>

- ・大路川流域治水通信
- ・若葉台地区自治会だより

<報道機関による情報発信>

試行設置の状況をテレビ、新聞で取り上げていただき、広く住民に周知

R6.11.12
日本海新聞



R6.11.14
日本海ケーブルネットワーク



<防災フェスタ、グッズ配布>

防災フェスタで流域治水模型による来場者への周知あわせて、流域治水グッズを配布



R6.9.15
防災フェスタ

<ラジオ出演>

ラジオ出演による流域治水の紹介

9/19 FM鳥取(RADIO BIRD 82.5)

10/4 FM米子(DARAZ FM 79.8MHz)

二級水系
流域治水プロジェクト

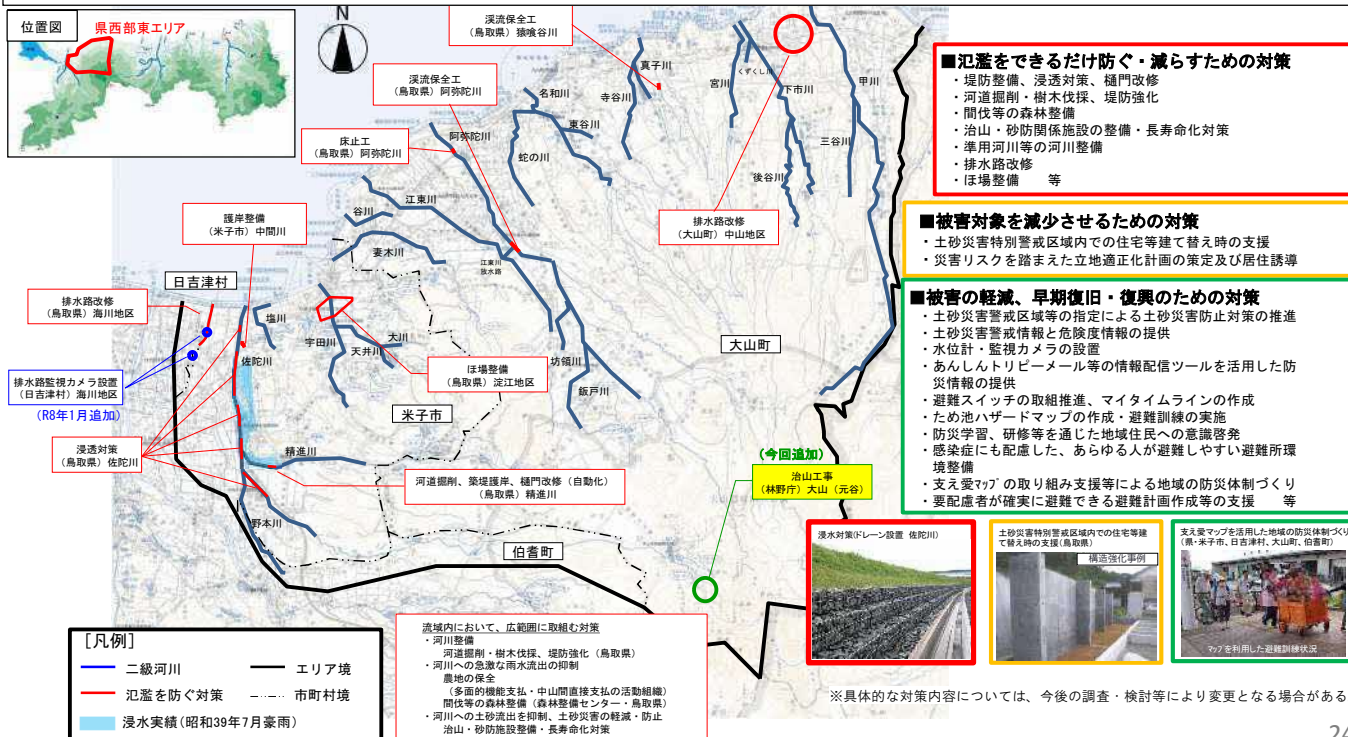
佐陀川外流域治水プロジェクト(県西部東エリア)【位置図】

～あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」～

【R8年6月更新予定】

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、二級水系においても事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図ります。
このうち、佐陀川及び精進川については、観測史上最大降雨が発生した昭和39年7月の豪雨と同規模の洪水を安全に河道に流下させ、洪水による被害の軽減を図ります。

○あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取組を実施し、「逃げ遅れゼロ」を目指します。



二級水系
流域治水プロジェクト

二級水系佐陀川外流域治水プロジェクト（県西部東エリア）
【ロードマップ】

【R8年6月更新予定】

- 流域エリア全体を俯瞰的にとらえ、流域に関連する機関が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】精進川の河道掘削・護岸整備を行う。
- 【中期】佐陀川の堤防の浸透対策を行う。
- 【中長期】河道掘削や樹木伐採を必要に応じて実施していくほか、逃げ遅れゼロを目指した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備、防災学習、研修等を通じた地域住への意識啓発などソフト対策を継続的に実施する。

佐陀川外流域治水プロジェクト（県西部東エリア）

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	（佐陀川）浸透対策	鳥取県			
	（精進川）河道掘削・築堤護岸	鳥取県			
	（熊管理河川）河道掘削・樹木伐採	鳥取県			
	間伐等の森林整備	森林整備センター 鳥取県			
	治山施設の整備・長寿命化対策	鳥取県、林野庁			
	砂防関係施設の整備・長寿命化対策	鳥取県			
	（阿努陀川）床止工	鳥取県			
	（阿努陀川）浸透保全工	鳥取県			
	（橋本谷川）浸透保全工	鳥取県			
	（中間川）護岸整備	米子市			
	（中山地区）排水路改修	大山町			
	（淀江地区）ほ場整備による雨水貯留対策	鳥取県			
	（海川地区）排水路改修	鳥取県			
被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内での住宅建て替え時の支援	鳥取県、米子市、大山町、伯耆町、日吉津村			
	災害リスクを踏まえた立地適正化計画の策定及び居住誘導	米子市			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害防止対策の推進	鳥取県			
	土砂災害警戒区域と危険度情報の提供	鳥取県			
	水防・監視カメラの設置	鳥取県、日吉津村			
	あんしんリピーメール等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供	鳥取県、米子市、大山町、伯耆町、日吉津村			
	避難スイッチの取組推進、マイ・タイムラインの作成	鳥取県、米子市、大山町、伯耆町、日吉津村			
	ため池ハザードマップの作成・避難訓練の実施	米子市、大山町			
	防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発	鳥取県、米子市、大山町、伯耆町、日吉津村			
	感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備	米子市、日吉津村、大山町、伯耆町			
	支え愛マツの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	鳥取県、米子市、大山町、伯耆町、日吉津村			
	要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成の推進	米子市、日吉津村、大山町、伯耆町			

25

佐陀川外流域治水プロジェクト（県西部東エリア）【フォローアップ資料】

R7年度末時点 取組状況

【評価事例】 前例して実施：◎、予定通り実施：○、作業中：×、未着手：△、R7年度 対象外：ー

区分	対策内容	実施主体	工程			地区等	評価	R7年度の取組状況	R8年度の取組予定	備考
			短期	中期	中長期					
① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	（佐陀川）浸透対策	鳥取県				（鳥取県）	◎	浸透対策工事	浸透対策工事	
	（精進川）河道掘削・築堤護岸	鳥取県				（鳥取県）	◎	護岸掘削工事、築堤護岸、掘削工事	掘削工事、築堤護岸、掘削工事	
	（熊管理河川）河道掘削・樹木伐採	鳥取県				（鳥取県）	◎	浸透対策工事、浸透対策工事、掘削工事	浸透対策工事、浸透対策工事、掘削工事	
	間伐等の森林整備	森林整備センター 鳥取県				（鳥取県）	◎	事業予定なし	事業予定なし	
	治山施設の整備・長寿命化対策	鳥取県				（鳥取県）	◎	治山工事（多治地区）	治山工事（多治地区）	
	砂防関係施設の整備・長寿命化対策	鳥取県				（鳥取県）	◎	砂防施設の整備（本穴川）	砂防施設の整備（本穴川）	
	（阿努陀川）床止工	鳥取県				（鳥取県）	◎	浸透対策工事	浸透対策工事	
	（阿努陀川）浸透保全工	鳥取県				（鳥取県）	◎	浸透対策工事	浸透対策工事	
	（橋本谷川）浸透保全工	鳥取県				（鳥取県）	◎	浸透対策工事	浸透対策工事	
	（中間川）護岸整備	米子市				（米子市）	◎	護岸改修工事の完了（24m）	護岸改修工事の完了（24m）	
	（中山地区）排水路改修	大山町				（大山町）	◎	排水路改修工事	排水路改修工事	
	（淀江地区）ほ場整備による雨水貯留対策	鳥取県				（鳥取県）	◎	ほ場改修工事	ほ場改修工事	
	（海川地区）排水路改修	鳥取県				（鳥取県）	◎	排水路改修工事	排水路改修工事	
被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内での住宅建て替え時の支援	鳥取県、米子市、大山町、伯耆町、日吉津村				（鳥取県）	◎	建て替え時の支援として市町村への補助金を提供（実績なし）	建て替え時の支援として市町村への補助金を提供	
	災害リスクを踏まえた立地適正化計画の策定及び居住誘導	米子市				（米子市）	◎	補助制度あり（R7年度実績なし）	補助制度あり（R7年度実績なし）	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害防止対策の推進	鳥取県				（鳥取県）	◎	地防改修工事、防災工事完了箇所等の整備調査を実施	地防改修工事、防災工事完了箇所等の整備調査を実施	
	土砂災害警戒区域と危険度情報の提供	鳥取県				（鳥取県）	◎	気象台と連携し、情報配信（情報提供）	気象台と連携し、情報配信（情報提供）	
	水防・監視カメラの設置	鳥取県、米子市、大山町、伯耆町、日吉津村				（鳥取県）	◎	浸透対策工事	浸透対策工事	
	あんしんリピーメール等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供	鳥取県、米子市、大山町、伯耆町、日吉津村				（鳥取県）	◎	浸透対策工事	浸透対策工事	
	避難スイッチの取組推進、マイ・タイムラインの作成	鳥取県、米子市、大山町、伯耆町、日吉津村				（鳥取県）	◎	浸透対策工事	浸透対策工事	
	ため池ハザードマップの作成・避難訓練の実施	米子市、大山町				（米子市）	◎	浸透対策工事	浸透対策工事	
	防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発	鳥取県、米子市、大山町、伯耆町、日吉津村				（鳥取県）	◎	浸透対策工事	浸透対策工事	
	感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備	米子市、日吉津村、大山町、伯耆町				（米子市）	◎	浸透対策工事	浸透対策工事	
	支え愛マツの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	鳥取県、米子市、大山町、伯耆町、日吉津村				（鳥取県）	◎	浸透対策工事	浸透対策工事	
	要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成の推進	米子市、日吉津村、大山町、伯耆町				（米子市）	◎	浸透対策工事	浸透対策工事	

県

26

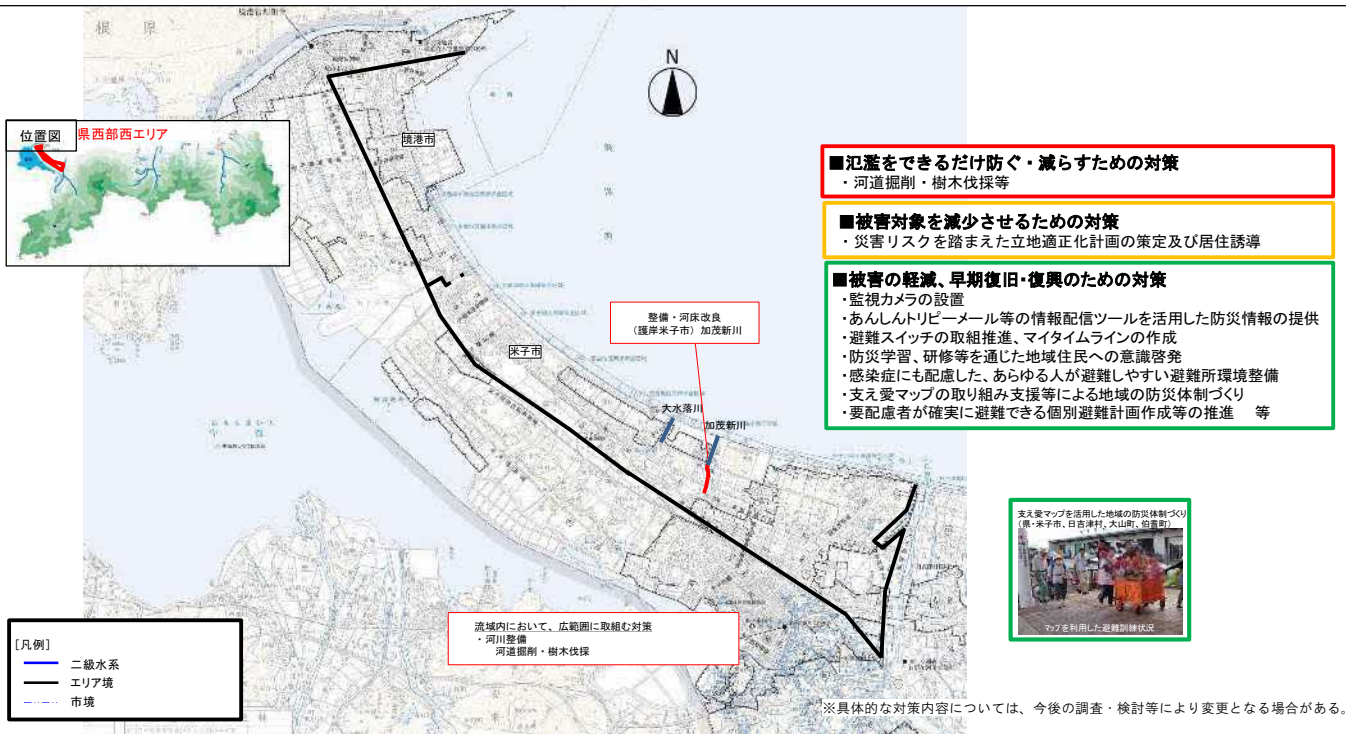
県

二級水系
流域治水プロジェクト

加茂新川外流域治水プロジェクト（県西部西エリア）【位置図】

～あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」～

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、二級水系においても事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図る。
- あわせて、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取組を実施し、「逃げ遅れゼロ」を目指します。



27

県

二級水系
流域治水プロジェクト

加茂新川外流域治水プロジェクト（県西部西エリア）

【ロードマップ】

- 流域エリア全体を俯瞰的にとらえ、流域に関連する機関が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期～中長期】逃げ遅れゼロを目指した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備、防災学習、研修等を通じた地域住への意識啓発などソフト対策を継続的に実施する。

加茂新川外流域治水プロジェクト（県西部西エリア）

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削・樹木伐採	鳥取県			
	（加茂新川）護岸整備・河床改良	米子市			
被害対象を減少させるための対策	災害リスクを踏まえた立地適正化計画の策定及び居住誘導	米子市			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	監視カメラの設置	鳥取県			
	あんしんトリビメール等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供	鳥取県			
	避難スイッチの取組推進、マイ・タイムラインの作成	鳥取県			
	防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発	鳥取県			
	感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備	米子市、境港市			
	支え愛マップの取り組み支援等による地域の防災体制づくり	鳥取県			
	要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成等の推進	米子市、境港市			
		米子市、境港市			

28

加茂新川外域流域治水プロジェクト(県西部西エリア)【フォローアップ資料】			R7年度末時点 取組状況			〔評価凡例〕 前倒しで実施: ◎、予定通り実施: ○、作業中: △、未着手: ×、R7年度 対象外: -					
区分	対策内容	実施主体	工程			地区等	評価	R7年度の取組状況	R8年度の取組予定	摘 要	
			短期	中期	中長期						
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河津留所・樹木伐採	鳥取県					-	予定なし(増積状況に応じた維持対応を実施)	予定なし(増積状況に応じた維持対応を実施)		
	加茂新川(護岸整備・河床改良)	米子市				(米子市)	◎	護岸改修工事の実施(L=201m)	護岸改修工事の実施(L=160m)		
	(上塩原五丁目地内ほか)雨水排水対策	米子市				(米子市)	△	測量設計実施、工事実施(L=24m)	工事実施(R431号区間(L=113m))		
	(東塩原四丁目・五丁目地内)雨水排水対策	米子市				(米子市)	○	測量設計実施、工事実施(L=78m)	工事実施(L=100m)		
	(車尾・中島地内)雨水排水対策	米子市				(米子市)	○	工事実施(L=205m)	工事実施(L=192m)		
被害対象を減少させるための対策	災害リスクを踏まえた立地適正化計画の策定及び居住誘導	米子市				(米子市)	○	策定した計画に基づく居住誘導	策定した計画に基づく居住誘導		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	監視カメラの設置	鳥取県					-	予定なし(当面の予定箇所は完了)※RS設置済	予定なし(当面の予定箇所は完了)※RS設置済		
	あんしんトリビーム等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供	鳥取県 米子市 境港市				(鳥取県)	○	あんしんトリビーム、アプリといった県運営ツールに加え、X(旧Twitter)等のSNSを活用した防災・危機管理情報の発信、気象情報や河川・道路カメラ映像等を集約して公開する「防災情報ポータルサイト」、避難情報や避難所情報等を発信する防災Webといった県運営ツールに加え、X(旧Twitter)等のSNS、Yahoo! 防災といった民間サービスを活用した防災・危機管理情報の多様な手段を用いた情報発信を行う。		危機管理部	
						(米子市)	○	情報ツールを活用した防災情報の提供	引き続き実施		
						(境港市)	○	防災行政無線、トリビーム、市HP、車両広報等の手段を確保	継続実施		
	避難スITCHの取組推進、マイ・タイムラインの作成	鳥取県 米子市 境港市				(鳥取県)	○	専門的知識を有する講師を派遣して、避難スITCH決定に必要な知識習得の研修実施を支援	専門的知識を有する講師を派遣して、避難スITCH決定に必要な知識習得の研修実施を支援		危機管理部
						(米子市)	○	避難ノートを活用した啓発の推進	引き続き実施		
						(境港市)	○	出前講座、消防防災フェア等を活用した意識啓発	継続実施		
	防災学習、研修等を通じた地域住民への意識啓発	鳥取県 米子市 境港市				(鳥取県)	-	実施なし ※エリア外ではあり。	小学校等での防災教育の実施		
						(米子市)	○	地域住民等への出前講座等の実施	引き続き実施		
						(境港市)	○	出前講座、消防防災フェア等を活用した意識啓発	継続実施		
	感染症にも配慮した、あらゆる人が避難しやすい避難所環境整備	米子市 境港市				(米子市)	○	危機管理課、マニュアルの改訂による対応の配慮	引き続き実施		
						(境港市)	○	感染症に対応した被覆品の点検・補充、避難所環境整備のための環境整備	継続実施		
						(鳥取県)	○	市町村、施設職員及び防災士等を対象とした支援マップづくりインストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進	市町村、施設職員及び防災士等を対象とした支援マップづくりインストラクター養成研修を実施するなど災害に強い地域づくりを推進		危機管理部
	支援マップの取り組み促進等による地域の防災体制づくり	鳥取県 米子市 境港市				(米子市)	○	取り組みに対する地域への支援等の実施	引き続き支援		
						(境港市)	△	市社協に加え、防災担当課・福祉担当課の連携を推進	継続実施		
						(米子市)	○	部局を横断した計画作成の支援	引き続き支援		
	要配慮者が確実に避難できる個別避難計画作成等の推進	米子市 境港市				(境港市)	△	策定した個別避難計画の点検・更新	継続実施		

・各機関の取組について

米子市の取組

〈具体的取組〉

- ・関係各課等と連携し、学生が水害を想定したXR防災コンテンツや触覚センサーの制作・発表活動の支援および助言を行った。
- ・浸水区域や避難に関する意識啓発のため、ハザードマップやよなご避難ノートを活用して学校、自治会等にて出前講座等を行った。
- ・小学校において実地にマンホールトイレを設営し、手順を確認するとともに、実施要領を整理する等、マンホールトイレの運用能力向上を図った。併せて、公民館祭において上物の展示を行った。
- ・防災担当者の防災力向上のため、国際文化アカデミー研修等に参加し、水害時における図上対応訓練を行った。



水害XR体験や接触コンテンツの作成支援



備蓄等更新及び資材整備・整理



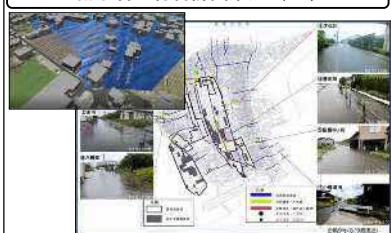
31

境港市の取組

ハード・ソフト両面での取り組みを実施

- ◆ハード面の取り組みとして、令和6年度に雨水管理総合計画を策定し、令和7年度に「内水ハザードマップ」を作成
令和8年5月市報に「内水ハザードマップ」を織り込み全戸配布、6月より各地区で住民説明会を開催する予定
- ◆ソフト面の取り組みとして、保育園、学校、自治会、企業等への防災訓練支援、出前講座のほか、市民の防災意識を啓発するため「さかいみなと消防・防災フェア」を継続して実施

雨水管理総合計画策定 (R6)



内水を含む水害ハザードマップ作成 (R7)



出水期の排水ポンプ設置



小学校での防災授業



消防と合同での出前講座



自治会での出前講座



令和7年10月5日「さかいみなと消防・防災フェア」を開催、本年度(第4回)は10月4日に開催

消防団活動展示



起震車による地震体験



自衛隊・消防・警察棟による各種展示



32

日野町の取組

防災担当者による防災学習 地域での防災に関連した取組推進

- ・防災担当者による防災学習及び防災講演会の実施
防災講演会 1回(日野学園6年生)
 - ・自治会等での防災に関連した取組の推進(防災グッズの配布)
- ※鳥取県西部地震25年特別事業
12自治会、3団体

気象防災アドバイザー活用促進事業 (職員初動マニュアルの作成)

- ・気象庁「気象防災アドバイザー活用促進事業」の採択を受け、同アドバイザーの支援を受けながら「職員初動マニュアル」の作成、職員研修会を実施
- ・令和8年度以降も継続し、マニュアルの検証、見直しによる職員の災害対応能力の向上を図る。



その他の取組

- ・全町一斉防災訓練の実施(毎年10月第1週日曜日)
- ・WEBハザードマップの公開(町HP、情報配信アプリ)
- ・避難所物資の分散備蓄(町内8カ所の指定避難所)
- ・資機材の購入(ポータブル電源2台)
- ・防災士資格取得促進(R7実績2名)

33

日南町の取組

防災専門員による出前講座

水害に対する意識向上と知識習得を目的に、防災専門員による出前講座を実施

町内の自治会、集落単位または小中学校などで出前講座を実施
地域ごとの危険箇所や河川の浸水想定に関する説明及びワークショップを実施

R7年度実績 19回 受講者数 565名

水防訓練の実施

大規模水害の未然防止・軽減、より実効性ある水防体制の確立等を目的に、水防訓練を実施

公設消防団及び自衛消防団が参加し土のう作成及び改良積土のう工法による演練を実施した他、備蓄用として作成した土のうを各自治会に配分



総合防災訓練の実施

豪雨災害を想定し、発災から終息までの一連の対応及び個別避難計画に基づく避難要領を検証

議会・職員、日南病院・日南福祉会のほか下記の機関が参加

- ・自治協議会・各自治会
- ・自衛消防団
- ・町消防団
- ・江府消防署・黒坂警察署
- ・鳥取県日野振興センター等



防災拠点の備蓄品整備

災害時の防災拠点となる避難所へ、災害時に必要な資機材の備蓄品整備を実施

R7年度配備資機材

- ・封筒型シュラフ(18個)
- ・保存食
(アルファ米・水等)
- ・生理用品
(各種タイプ)



江府町の取組

令和7年度の主な取組

- ・広報誌に令和8年5月末から始まる、新防災気象情報の運用について掲載し迅速な避難行動を啓発する。
- ・小学校避難訓練にて速やかで安全な避難の重要性について説明する。
- ・災害ケースマネジメント実施計画を策定する。

総合防災訓練等の実施

- ・土砂災害警戒地域・土砂災害特別警戒区域が多数存在する本町において、土砂崩れによる孤立集落発生及び通信途絶を想定。Stalinkを設置し災害対策本部との情報伝達訓練を実施する。

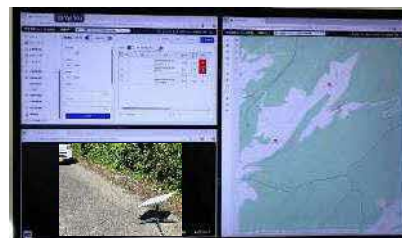
令和8年度の取り組み予定

- ・地元企業と連携した取り組み
日野川流域治水オフィシャルサポーターに認定された地元企業と協力して流域治水への取り組みや考え方を町内に広く啓発する。
- ・出かける役場推進室の機動力を活用し、災害時の情報収集・通信体制の確保及び避難所におけるWi-Fi環境の確保体制など訓練する。



令和8年5月末（予定）から新たな防災気象情報の運用を開始します。今回の変更により、避難行動の迅速な実施に貢献し、被害の軽減をします。レベラやレベラ等の機能が活用された場合には、気象庁によるウェブページ「レベラ」や気象庁の防災情報等の情報を活用して、早急な避難行動を促すことが期待されます。自治体から警戒レベルも避難指示や警戒レベル3の発令等が実施された際には、早急な避難行動を促すことが期待されます。

また、避難指示が発令されていく中で、警戒レベル4や警戒レベル5に引き上げられた場合には、警戒レベル4や警戒レベル5に引き上げられた場合には、気象庁によるウェブページ「レベラ」や気象庁の防災情報等の情報を活用して、早急な避難行動を促すことが期待されます。自治体から警戒レベルも避難指示や警戒レベル3の発令等が実施された際には、早急な避難行動を促すことが期待されます。



35

気象台の取組 住民の水害に対する心構えと知識を備える方策

防災学習、研修等を通じた住民への意識啓発

学校の児童、生徒向けの防災学習や地域住民向けの勉強会を実施することにより、防災気象情報の知識普及や命を守るために必要な行動の習得に必要な防災意識の向上を図ることが目的。

○広報活動

防災担当者、住民を対象とした防災気象講演会の開催や、小学校の児童を対象としたイベント等に参加し天気への関心を深めていただくとともに、防災意識を高める取り組みの推進。



防災気象講演会

○災害時要援護者向けの勉強会の実施

災害時に情報の入手が困難な高齢者や障がい者、外国人などを対象に、避難行動に繋がる防災情報の入手や活用方法を解説。



外国人防災勉強会



おてんきひろば（倉吉図書館）



○大雨による災害を想定した防災学習を実施

過去の台風・大雨による被害状況の写真などを活用して、大雨によりどんな災害が発生するのか、自分たちが住んでいる地域でどんな災害が想定され、どのように避難行動を取るのか考えさせる。



防災学習（河原第一小学校）

36

県危機管理部の取組

○地域の支え愛マップづくりを通した地域防災力向上

- ・「支え愛マップ」は地域住民が主体となって作成するもので、平成24年度から取組開始。
- ・県、市町村、県社協、市町村社協が支援し、作成を促進。

＜支え愛マップづくりの様子＞



○各種ツールによる県民への周知

- ・あんしんトリピーメール、防災アプリ(あんしんトリピーなび)等の多様なツールを活用し、避難情報や警報など、いち早く情報を届ける。

○広域避難の取組推進

- ・市町村の行政界を超えた事前の広域避難について市町村と検討を開始。

＜災害ケースマネジメント：訪問調査の様子＞



○災害ケースマネジメントの推進

- ・鳥取県中部地震を契機に、被災者一人ひとりに寄り添った生活復興支援を平成30年4月から開始。
- ・令和4年10月に県、市町村、専門士業団体、県社協等で構成する「災害ケースマネジメント協議会」を設立し、関係機関が連携して災害ケースマネジメントに取り組む体制を構築。

37

田んぼダムの取組拡大に向けて

【R5年度までの取組】

- 田んぼダムの効果を見える化した「田んぼダムモデルほ場」を設置。実証研修と併せ、不安視される水稻への生育影響調査を実施した。
- ・参加した98%の方が田んぼダムの効果や実施方法(堰板設置等)を理解された。
- ・田んぼダム想定区画で水稻を作付。収量・品質面ともに生育への影響は無し。

■水稻の生育影響調査

- ・田んぼダム想定区画では豪雨(数回湛水。20cm・2日間)を再現。収穫後、収量・品質を比較。
- (結果)生育収量への影響は確認されない。



モデルほ場の設置(田んぼダムの効果の実証) 実証研修の様子(8回開催。延べ392名が参加)

【R6年～R7年度の取組】

- 多面的機能支払交付金の活動組織を対象とした出前研修会を実施。R7年度は、東部地域の取組農家の声を盛り込み、西部地域へ普及・展開。

取組に対する農家の不安を解消

- ・R7年度は、西部地域を中心に6市町(合同開催含む)で計5回。地元、町の事業担当者や防災担当者等、延べ300名以上が参加
- ・取組農家の声(取組のきっかけ、堰板の管理方法、畦畔や収量・品質に関する影響)を紹介し、取組に対する不安解消に努めた。
- ・多面的機能支払交付金で取り組む場合の加算措置制度を含め、外部人材活用による「農山村ボランティア」や「むら・まち支え合い共生の里」事業の提案・PR。(例：ボランティアを活用した田んぼダム用堰板の作成などを提案)

●八頭町日田地区で畦畔補強や法面保護工等の水田貯留機能向上に向けた整備を開始。

- ・ほ場整備から約40年経過し、畦畔の崩れが散見、水管理及び畦畔の草刈の管理に支障を来している地区において、R7年度から国事業(農地耕作条件改善事業)を活用し、畦畔補強や法面管理省力化を目的としたカバープランツの導入に着手。
- (背景：令和3年8月豪雨、令和5年台風7号の豪雨を契機に地元の水害対策に対する意識が向上)
- ・田んぼダムに安心して取り組めるよう基盤を整備し、豪雨による被害防止を図る。



畦畔補強の施工状況



畦畔補強後



田んぼダム実施想定エリア

<取組成果>

- R7年度から新たに10地区(内、千代川流域5地区)で取組が開始される等、着実に浸透。(西部地域でも、R7年度から南部町で1地区、R8年度から日南町で1地区の取組開始予定) ※下段の()は千代川流域の数値

R3年度		R4年度		R5年度		R6年度		R7年度(累計(見込み))	
地区数	面積(ha)	地区数	面積(ha)	地区数	面積(ha)	地区数	面積(ha)	地区数	面積(ha)
10	60	17	147	21	271	25	328	35	489
(9)	(54)	(14)	(121)	(16)	(185)	(18)	(190)	(23)	(231)



出前研修の様子(5回開催。延べ300名が参加)

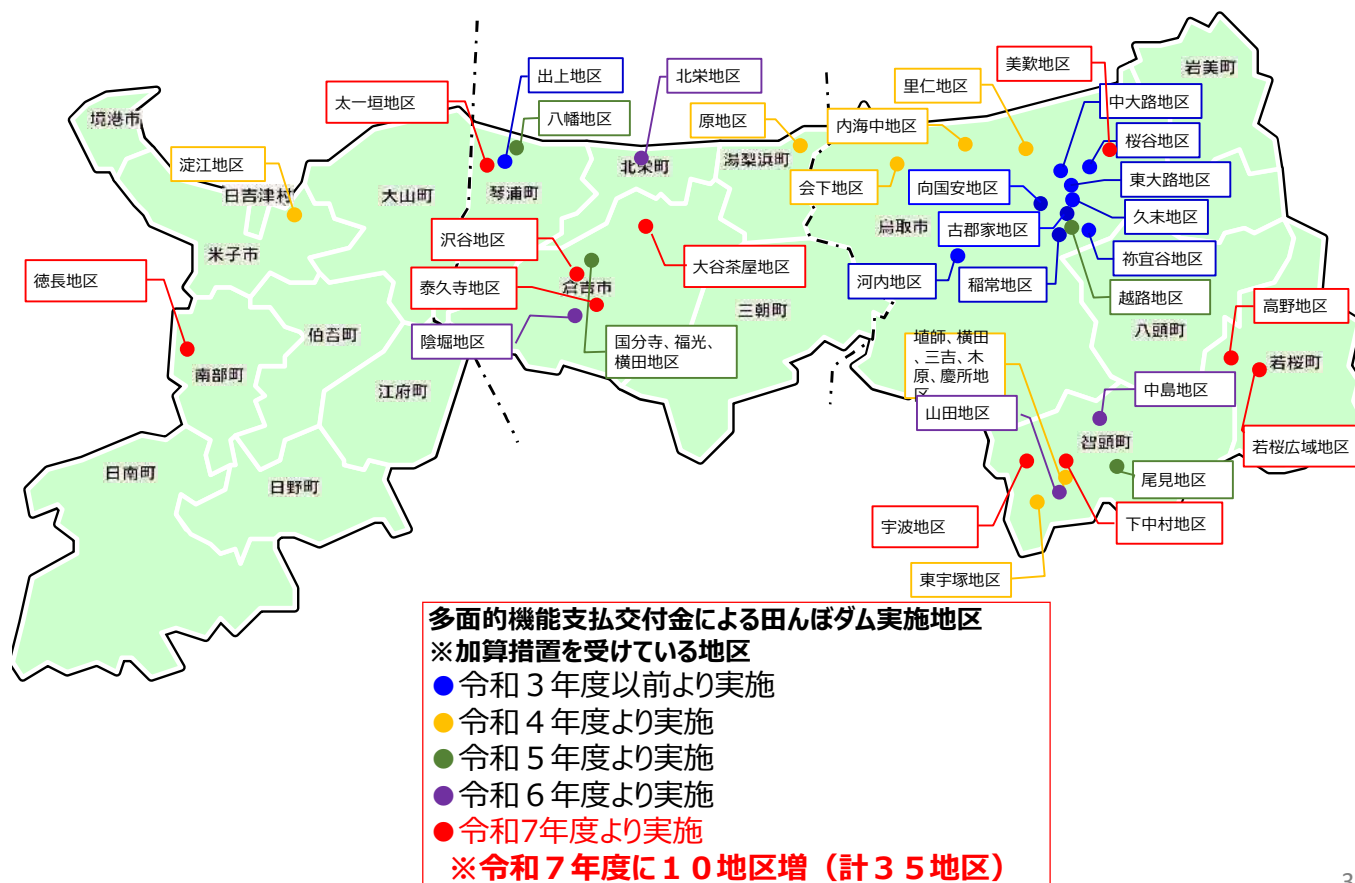


資料の一例(中山間地の取組農家の声)



資料の一例(平地の取組農家の声) 38

多面における田んぼダムの取組（R7年度）



39

米子県土の取組 「的確な避難行動のための取組」

○小中学校などと連携した防災教育

防災意識向上への「防災教育」、河川等の役割を理解してもらう「河川（砂防）学習会」を実施

【防災教育（自然災害「洪水・土砂災害」、土石流模型実験、ドローン飛行）

◇令和6年度実施状況

鳥取県消防学校（新規採用消防職員）、伯耆町立二部小学校（3・4年生）、大山町立大山小学校（5年生）

◇令和7年度実施状況

伯耆町立二部小学校、八郷小学校（4年生）、大山町立大山小学校（5年生）、南部町立会見小学校（6年生）

◇令和8年度の予定

学校の防災教育への専門家派遣事業を継続実施

二部小学校



土石流模型実験

八郷学校



自然災害（洪水・土砂災害）の座学

大山小学校



土石流模型実験

40

米子県土の取組 「的確な避難行動のための取組」

○災害リスクの現地表示(まるごとまちごとハザードマップ)

想定浸水深表示板設置の推進

「ハザードマップの見える化」により、水害意識の向上・防災情報の更なる周知を進める。

・市町村と連携し、公民館などの公共施設等に設置 ※ 県が浸水表示板を提供、町が設置

■南部町 令和2～4年度 32箇所完了、**令和8年度 1箇所予定** ■米子市 令和3年度 1箇所完了

■日吉津村 令和4年度 18箇所完了 ■伯耆町 令和5年度 4箇所完了



41

米子県土の取組 「河川等への流出を抑制する取組」

○雨水貯留タンクの設置による浸水対策

建物内の雨水貯留施設

設置した施設の利用者に目に触れることで、雨水貯留タンクの認知度を向上させるとともに、併せて防災学習を実施し、地域住民の防災意識の向上を図る。

・市町村と連携し、公民館や小学校などの公共施設・学校施設等に設置

■令和6年度 東西町コミュニティセンター 1基(南部町)

■令和7年度 南部町立会見小学校 1基

■**令和8年度以降** 要望に応じて設置



42

日野県土の取組 「防災学習会・出前講座」の実施

日野振興センターでは、地域の皆さんの防災意識を高めていただくため、「ひの防災レンジャー」を組織して、地域の方々や小学校を対象とした防災学習会、出前講座を行っています。

令和2年度の実施状況

- 6/15 江府中学校(40名)
- 9/4 霞地区自治会(30名)
- 10/5 江府町こどもサロン(24名)
- 10/17 まなびや-ひの谷学舎-(15名)

令和3年度の実施状況

コロナ禍により開催中止

令和4年度の実施状況

- 10/31 江府町こどもサロン(26名)
- 2/16 日南小学校(22名)

令和5年度の実施状況

- 3月 要援護者施設訪問(避難対策意見交換)

令和6年度の実施状況

- 9/17 江府町こどもサロン(約20名)
- 11/19 日南小学校5年生(約30名)
- 12/19 奥大山江府学園5年生(約10名)

令和7年度の実施状況

- 7/2 池ノ内自治会(約20名)



R7.7.2 池ノ内自治会



R6.12.19 奥大山江府学園



R6.11.19 日南小学校

43

県治山砂防課の取組 かせち 加勢蛇川、本谷奥国有林、野井倉地区(加勢蛇川水系・鳥取県琴浦町)

総合的な流木災害防止対策を実施する契機

平成23年9月3日に台風12号による集中豪雨等により山腹崩壊が発生し、溪流内に不安定な土砂とともに倒木が堆積しており、今後の出水によりこれらの土砂や倒木が流出して流木災害が発生する恐れがある。

過去の災害発生時の状況



下流町道橋への流木堆積状況

事業連携による成果

◎砂防事業:下流への土砂流出防止対策として透過型堰堤工を整備

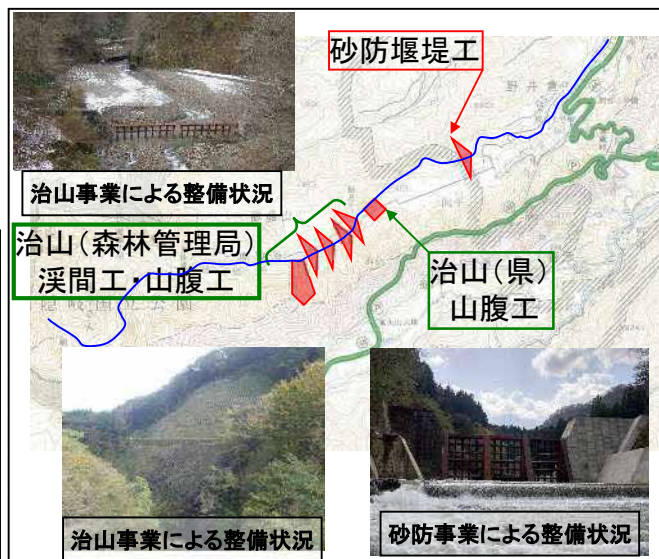
◎治山事業(国有林):山腹崩壊地及びその周辺の荒廃溪流対策として山腹工、谷止工等を整備。

◎治山事業(民有林):山腹崩壊地の復旧対策として山腹工を整備

この事業連携により、上中流の発生源対策及び下流域での土砂流出防止対策が可能となり、総合的な流域対策が可能となった。

事業概要

	砂防事業	治山事業		
事業名	火山砂防事業 H24～ 社会資本整備総合交付金 R1～ 大規模特定砂防等事業費補助	水源地域整備事業	復旧治山事業	林地荒廃防止事業 H24 一括交付金 H25～ 農山漁村地域整備交付金
事業主体	鳥取県	近畿中国森林管理局	近畿中国森林管理局	鳥取県
事業期間	平成24～令和6年度	平成26～30年度	令和2～7年度	平成24～29年度
全体事業費	855,000千円	490,000千円	33,700千円	103,100千円
整備内容	透過型堰堤工1基	山腹工4.47ha 谷止工1基 床固工3基	浚渫工2036.2m ³	山腹工0.5ha



令和7年度 of 取組状況 (鳥取県: 河川課)

<防災学習、イベントによる啓発活動>

- ・ イベント出展やラジオ出演による積極的な広報活動を展開している。
→ 地元からの要望があり、「美保南地区デイキャンプ」「若葉台フェスティバル」「宝木地区 雨水貯留タンク視察」「鳥取市総合防災訓練（稲葉小）」に参加した。
- ・ 雨水貯留設置をキッカケとした防災学習について学校関係者へ呼びかけ、防災学習の実績が増えている。
→ 大路川流域の校長先生に防災学習の効果や流域治水の取組をPRし、防災学習の実施を提案した結果、若葉台小学校、津ノ井小学校、米里小学校での防災学習が実現した。



防災フェスタ (米子市開催)



鳥取市総合防災訓練 (稲葉小)



美保南地区デイキャンプ



宝木地区雨水貯留タンク視察 (面影地区公民館)



若葉台地区フェスティバル & 地区文化祭



青翔開智中学校 職場体験
→ 「流域治水」を研究テーマに選定



防災学習 (米里小学校)



ラジオ出演

45

県河川課の取組 樋門操作の省力化推進中！

県管理の手動式樋門(199基/全238基)のうち、氾濫規模等から優先順位が高い樋門160基について、「操作員の負担軽減」、「開閉の迅速化」による省力化を目的として、『樋門の電動化』を推進しています。

【事業背景】

- ・ 樋門は**地域住民**(市町村委託)が**操作**している。
- ・ 開閉作業は1基10分も要する**重労働**である。
- ・ **操作員の高齢化**が進む中、負担軽減の要望が上がっている。
- ・ **ボタン操作**による電動化は**多額の費用と時間を要する**。

⇒大規模な施設改修は時間もお金もかかるため、
手動樋門を電動ドリルで開閉できるよう改造し、整備する。

【事業スケジュール】

予算年度	基数	状況
令和4年度	51	51基完了
令和5年度	58	58基完了
令和6年度	23	23基完了
令和7年度	26	26基完了
令和8年度	2	実施予定
合計	160	

【効果事例】 ⇒252秒の時間短縮(労力も軽減！)



5~10分近くの全身運動



指先一つで上げ下げ可能。
しかもあっという間！



【お知らせ】

※河川課HPで、導入効果、操作方法等を公開しています。



46

(4) その他・情報提供

47

雨水貯留タンク設置の取組

令和8年6月5日
鳥取県県土整備部河川港湾局河川課

雨水貯留タンクの取組状況(鳥取県:河川課)

＜雨水貯留タンク試行設置の推進＞

- ・若葉台小、福部町総合支所、打吹小、会見小の4箇所に1000ℓの雨水貯留タンクを設置。
- ・令和6年度に引き続き、全県展開を進めている。(合計11基 設置完了)



鳥取市立若葉台小学校



福部町総合支所



倉吉市打吹小学校



南部町立会見小学校

＜キャラクター、グッズ制作による効果的な広報＞

- ・治水のイメージキャラクターとして雨水貯留タンクをモチーフにした「ためそうくん&はなみちゃん」を制作し、防災学習や防災フェスタ等のイベントや各種媒体に用いて、一般の方に親しみやすく、わかりやすい普及啓発に努めています。



啓発グッズ【自由帳、シール】



防災学習やイベントで配布



啓発チラシ

49

雨水貯留タンク設置の取組について(鳥取県、鳥取市、倉吉市、湯梨浜町)

公共施設への試行設置

「雨水貯留タンク」を実際に見て、治水上の役割と雨水の活用を理解していただくよう、公共施設等での試行設置(1000ℓ)を全県で進めている。



美保南小学校(鳥取市宮長)



小規模多機能施設しじみの郷(湯梨浜町上浅津)

グッズ制作による効果的な広報

- 雨水貯留タンクのキャラクター「ためそうくん&はなみちゃん」を制作
- 一般の方にわかりやすい広報活動



啓発グッズ



(自由帳、シール)

要望の声の広がり

- モデル地区(大津川流域)の協議会やイベントの参加者から多くの要望や問合せがある。
- 住宅メーカーから要望がある。
- 美保南地区と市の懇談会で地区が強く要望された。



2025鳥取市総合防災訓練



2025宝木地区出前講座

災害を自分事として捉える
防災意識の向上に寄与

実施内容(雨水貯留タンク設置の補助制度) ※予算要求中

＜補助対象＞

県内の住宅等に雨水貯留タンクを設置する個人等(行政が所有する公共施設を除く)

＜事業主体＞

市町村(間接補助)【令和8年度実施:鳥取市、倉吉市、湯梨浜町】

＜補助対象経費＞

雨水貯留タンク設置に係る経費(材料費、施工費)

＜補助割合＞

市町村 1/3、県 1/3、個人 1/3

＜上限＞

1個人あたりの県補助金2万円を上限
(材料費2～3万円+設置費2～3万) × 1/3

家庭用タンクの事例



容量120ℓタンク

これまでの取組

取組の拡大

期待される効果

住民自らが雨水貯留タンクを設置するきっかけを創出することで、

- ・設置時に町内単位で計画している防災学習や設置者の口コミ、SNSを通じた情報発信により、**流域全体の防災意識向上と自主的な避難行動の定着**を促す。
- ・流域全体での相互理解を深め、特に田んぼダム等の取組の意欲が高まり、**雨水貯留対策の相乗的な効果**を生み出す。
- ・防災及び公共事業への理解と共感が醸成され、**河川整備(ハード対策)の円滑な事業推進**につながる。

ぼうさいこくたい2026in鳥取

51

ぼうさいこくたいの開催

- 中部地震10年の節目に、防災関係者が一堂に会する日本最大級の防災イベント『防災推進国民大会（ぼうさいこくたい）』を令和8年10月17日(土)、18日(日)に倉吉市で開催。
- 全国各地から多くの来場が見込まれる本大会の開催を契機として、鳥取県の先進的な防災分野の取組のみならず、食・観光や産業等の特色・魅力を広く全国に向けて発信。

ぼうさいこくたい2026概要

開催日	令和8年10月17日(土)、18日(日)
開催場所	鳥取県倉吉市(主会場:エースパック未来中心)
鳥取開催の特色	○中部地震10年を踏まえたセッション ○鳥取県の先進的な取組(災害ケースマネジメント、支え愛マップ等)の発信・共有 ○若者・女性視点による多様な防災関連企画(例)学生による「鳥取版HUG(避難所運営ゲーム)」の体験 ○防災訓練・訓練体験 等

鳥取県情報ポータルサイト
“鳥取県の情報盛りだくさん!!”

行き方(交通) 併催イベント 豊富な観光名所 食の魅力

○大会情報について、詳しくはポータルサイトから ⇒



鳥取県併催イベント ～見て・食べて・体験して・行動へ！～

防災訓練・体験

放水・煙脱出体験・防災運動会など楽しく学べる体験



防災産業展示

県内企業の技術・防災展示、地震体験車、消防車等働く車展示



食パラダイス鳥取

鳥取のグルメ・スイーツ 防災食・炊き出しなど



52